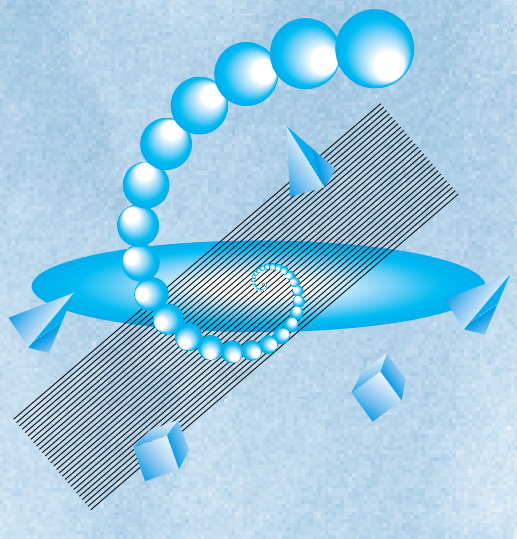
FUJITSU



42型ワイドプラズマディスプレイ

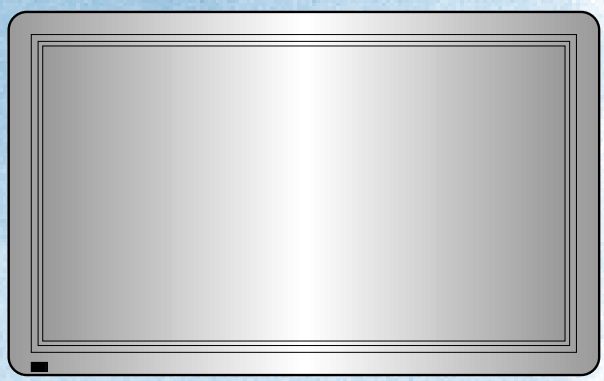
形名 PDS4203J

Plasmavision™

取扱説明書

正しくお使いいただくために、ご使用前に『取扱説明書』をよくお読みください。
ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお役に立ちます。
特に、安全上のご注意は必ず読んで正しくお使いください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに『保証書』とともに必ず保存してください。

保証書別添



この製品は、地球環境の保全を考慮し、再生または再利用が可能な部品を使用しています。

目次

■ご使用前に
安全上のご注意…… 2
特長…… 6
付属品について…… 7
知っておいていただきたいこと…… 8
転倒防止について…… 10
■使い方
各部の名前と働き…… 11
基本操作…… 15
ワイド画面を見るには…… 16
■便利な機能
オンスクリーン表示の設定…… 20
内蔵スピーカーの設定…… 21
ホワイトバランスの設定…… 22
DPMSの設定、表示言語の設定…… 23
■設定・調整のしかた
映像の調整(ビデオモード)…… 24
画面の調整(ビデオモード)…… 26
入力ソースの設定(ビデオモード)…… 28
その他の設定(ビデオモード)…… 30
映像の調整(RGBモード)…… 32
画面の調整(RGBモード)…… 34
入力ソースの設定(RGBモード)…… 36
その他の設定(RGBモード)…… 38
■その他
接続されるパソコンについて…… 40
オプション品について…… 42
仕様…… 44
お手入れ…… 46
アフターサービス…… 47
全国サービスネットワーク…… 裏表紙

株式会社 富士通ゼネラル

安全上のご注意

●ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●この項目は、いずれも安全上に関する内容ですので、必ず守ってください。
●『警告』『注意』の意味は次のようになっています。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定されるものおよび物的損害のみの発生が想定されるもの。

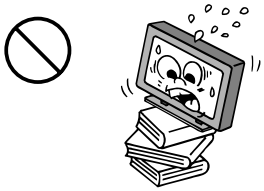
■絵表示について

	⚠記号は、警告・注意を告げるものです。
	⃠記号は、禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くの絵は具体的な禁止内容を表しています。（左図の場合は、分解や改造の禁止）
	●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中の絵は具体的な指示内容を表しています。（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください）

■据付け時

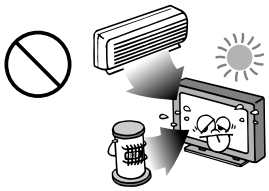
⚠警告

ぐらついた台の上や不安定な所に据え付けないでください。



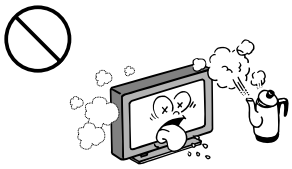
直接床に置いたり壁に立てかけたりしないでください。転倒によるケガや火災・感電の原因となります。

熱器具などを近付けないでください。



直射日光の当たる所やエアコンの吹出口近く、ストーブなどの近くに置くとキャビネットが変形したり、内部が高温となり火災の原因となります。

湿気やホコリの多い所に据え付けないでください。

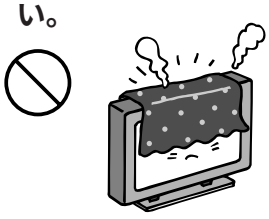


水蒸気、油煙などの近くに置かないでください。火災・感電の原因となります。

電源プラグは、必ず本機の近くの容易に抜き差しできる場所のコンセントを使用してください。

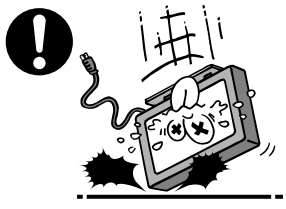
本機に異常があるときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのままにしておきますと火災・感電の原因となります。

通風孔をふさぐような据付けはしないでください。



カーテンやテーブルクロスなどを掛けたりしないでください。また、仰向けや横倒し、逆にするなどの状態でご使用になると内部が高温となり火災の原因となります。

据え付けるときや移設するときは、お買上げ窓口に依頼してください。

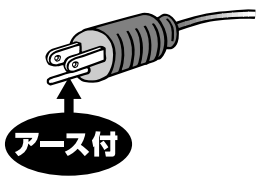


ご自分で据付け工事や移設工事をされると、落下、倒れによるケガや火災・感電の原因となります。必ず据え付けてから使用してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■据付け時

⚠警告

ディスプレイの電源プラグは、アース付３芯プラグですのでコンセントが２芯専用の場合は、アース工事をしてください。



アース工事をしないと感電の原因となります。お買上げ窓口にご相談ください。

■ご使用時

⚠警告

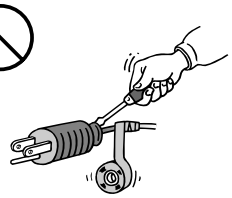
煙が出る、異臭がするなどの異常があるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

異常状態のときは危険ですので、必ず電源プラグを抜いて煙が出なくなるのを確認してからお買上げ窓口にご相談ください。そのままにしておきますと火災・感電の原因となります。

裏フタ、キャビネットカバーをはずしたり分解や改造をしないでください。

内部には電圧の高い部分や温度の高い部分があり、触れると火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグを破損しないようにしてください。

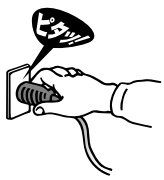


傷付けたり、加工しないでください。また、重いものを乗せたり、過熱したりすると破損することがあり、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りはじめたら、本機及び、電源プラグ、アンテナ線には触れないでください。

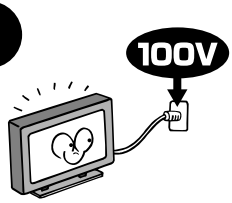
触れると感電の原因となります。

電源プラグは、確実に根元までコンセントに差し込んでください。



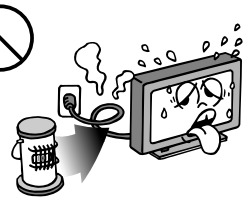
差込みが不完全な場合、火災・感電の原因となります。

電源は交流100Ｖ専用コンセントを使用してください。



１００Ｖ以外の電源は火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグにストーブなどの熱器具を近付けないでください。



電源ケーブルを高温部に近付けないでください。火災の原因となります。

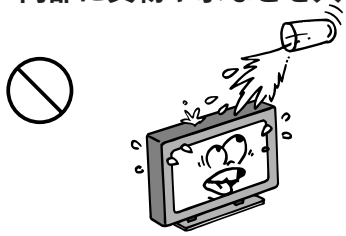
電源プラグにホコリが付着しないように定期的にホコリを取ってください。

ホコリが付着すると電源プラグの絶縁不良により火災・感電の原因となります。

■ご使用時

⚠警告

内部に異物や水などを入れないでください。

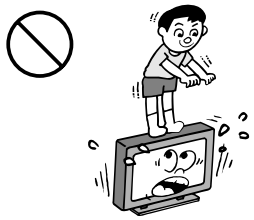


火災・感電の原因となります。もし入ったときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてお買上げ窓口にご相談ください。

■ご使用時

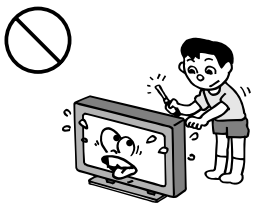
⚠注意

本機に乗らないでください。



倒れたり、壊れたり、落ちたりしてケガの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

放熱ファンに触れないでください。



放熱ファンの中に指や棒などを入れないでください。ケガの原因となることがあります。

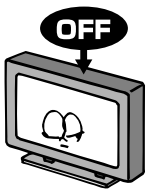
電源プラグを抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

電源コードは必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線し、発熱・発火の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。

プラグ部分にホコリがたまって、発煙・発火の原因となることがあります。

各機器との接続は、電源を切ってから行ってください。

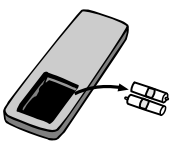


必ず、本機および接続する機器の電源を切ってから行ってください。切らずに行いますと感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

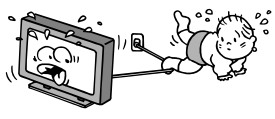
感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、電池を取り出してください。



電池から液が漏れる場合があります。ぬれた液が皮膚についたり、目や口に入った場合は、すぐに水で洗い流してください。なお、目がかすむなどの症状が出た場合は、医師にご相談ください。

接続ケーブルを引っ張ったり、引っかけたりしないでください。

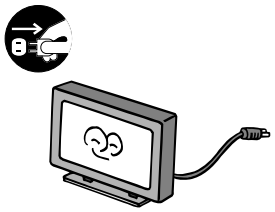


倒れたり、落ちたりしてケガの原因となることがあります。特に、お子様にはご注意ください。

■ご使用時

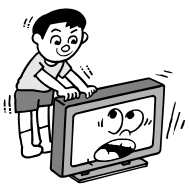
⚠注意

移動させる場合や、お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源プラグや機器間の接続線をはずしたことを確認のうえ、行ってください。接続したままですと感電の原因となることがあります。

衝撃を与えないでください。



前面は、ガラス製品を使用しているため衝撃を与えるとガラスが割れ、ケガの原因となることがあります。

本機の上面に、物を置かないでください。

倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。

通風孔の上に物を載せないでください。

本機にテーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、他の機器を密着させて載せたりして、通風孔をふさがないでください。また、押入れ、本箱などの風通しの悪い所で使わないでください。本体内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

本機をあお向けや横倒し、逆さまにして使用しないでください。

そのまま使用すると機器の信頼性が下がり故障したり、火災の原因となることがあります。

梱包箱や梱包袋などは、お子様などが遊びに使わないように注意してください。

遊びに使ったりすると、ケガや窒息する原因となることがあります。

特長

■パソコン表示に最適

●パソコン表示に適したVGAフル表示、SVGA圧縮表示が可能です。

■多彩な入力端子類

●ビデオ、S-ビデオ、RGBに加え、DVDやハイビジョンなどの高画質コンポーネント信号も入力できます。

■5種類のワイド表示

●普通の映像(4:3)をそのまま映し出すノーマルモードを含め、ワイド1、ワイド2、ズーム1、ズーム2の5種類のワイド表示ができます。

■縦型の設置も可能

●本機は広告表示などに適した縦型の設置もでき、コンテンツに合わせた縦型の画面が、ご覧になれます。

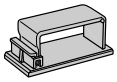
■便利なパワーマネージメント機能

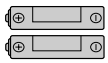
●DPMS(Display Power Management Signaling)機能を持ち、自動的に本機の消費電力を減少させます。

付属品について

■付属品の確認

ケーブルクランパー…2 個　リモコン…1 個　単 3 形乾電池…2 本　保証書…1 通　取扱説明書…1 冊

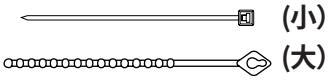




転倒防止金具…2 種類各 2 個　ネジ…2 種類各 2 本　フェライトコア…1 個　ワイヤークランパー…2 種類各 1 本

A　B

ネジ A(長さ 10mm)
ネジ B(長さ 20mm)

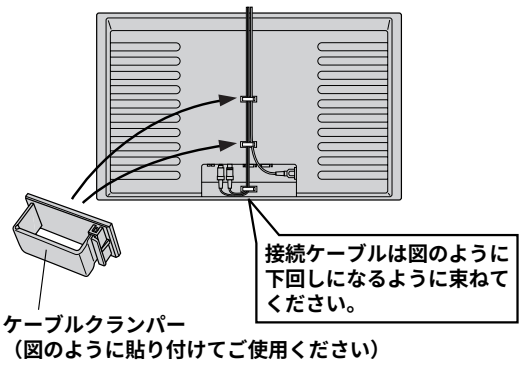

(小)
(大)

●ケーブルクランパーについて

付属品のケーブルクランパーは、接続した信号ケーブルや電源コードを固定するためのものです。本機を壁掛けユニットや天吊りユニット等に取り付けた場合、右図のように使用してください。

●ワイヤークランパー(大)について

付属品のワイヤークランパー(大) は、不要電波を軽減するために使用します。接続されるすべての信号ケーブルと電源コードを端子近くで束ねてください。その後、電源コードを除く信号ケーブルは本体のケーブルクランパーで固定してください。



■外部機器との接続

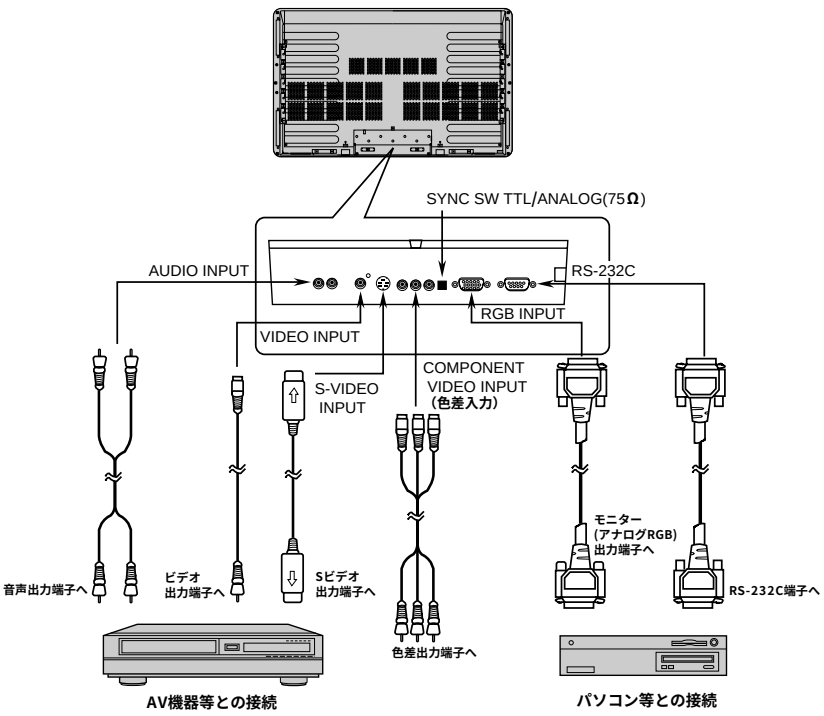
外部機器との接続ケーブルは、付属されていませんので、市販品をお買い求めください。

端子名	接続コネクター
AUDIO INPUT	ピンジャック
VIDEO INPUT	BNC
S-VIDEO INPUT	S 端子
COMPONENT VIDEO INPUT	BNC
RGB INPUT	mD-sub 15 ピン
RS-232C	D-sub 9 ピン

※ BNC 端子に市販のピンケーブルを接続する場合は、ピンジャック-BNC端子の変換コネクターが必要ですので、お買い求めください。

※パソコン等との接続ケーブルは、お持ちのパソコンにより異なりますので、お買上げ店に相談し、お買い求めください。

※コンポーネントビデオ入力端子に色差信号を入力するときは、付属品のフェライトコアとワイヤークランパーを取り付けてください。詳しくは、12 ページを参照ください。



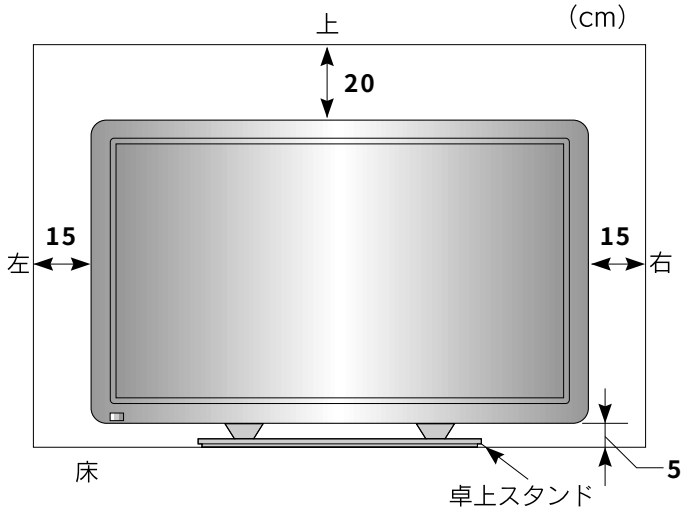
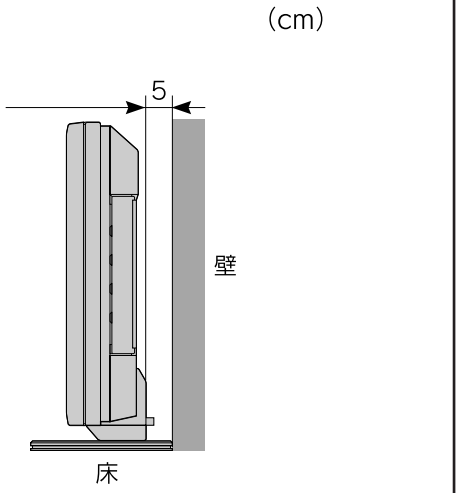
知っておいていただきたいこと

■使用上のお願い

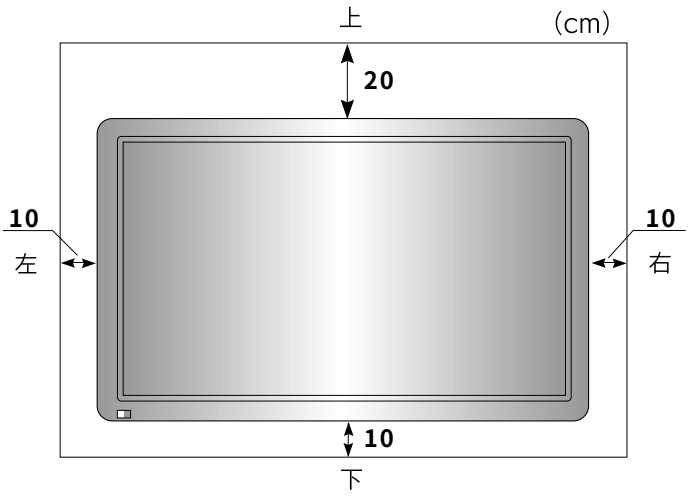
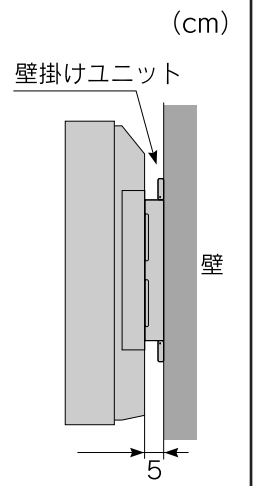
- ディスプレイを据え付けるときは、オプションの卓上スタンド、壁掛けユニット、天吊りユニットや壁寄せユニット等を必ず使用してください。据付けは、お買上げ窓口にご依頼ください。
- ディスプレイを据え付けるときは、各オプションの取付説明書をご覧ください。また、左右及び背面方向へは傾けないでください。
- 電源コード、接続ケーブルは引っかからないように、壁、床などの隅に配してください。
- 放熱をよくするため、周囲には下図の空間距離(最低距離)を保つようにしてください。
- 据付け場所の周囲温度は、0 ～ 40°Cの範囲で使用してください。

オプション品は、42 ～ 43 ページを参照

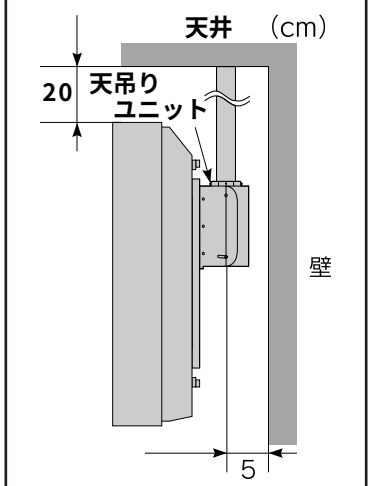
卓上スタンド

前　面	側　面
	

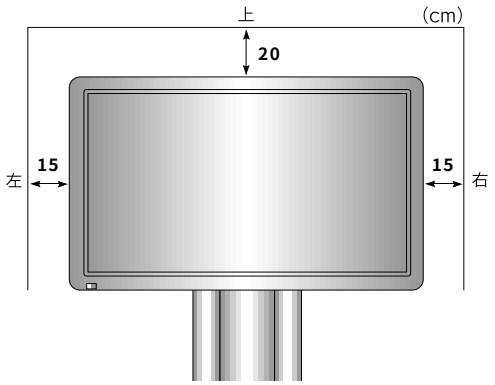
壁掛けユニット（横型）

前　面	側　面
	

天吊りユニット

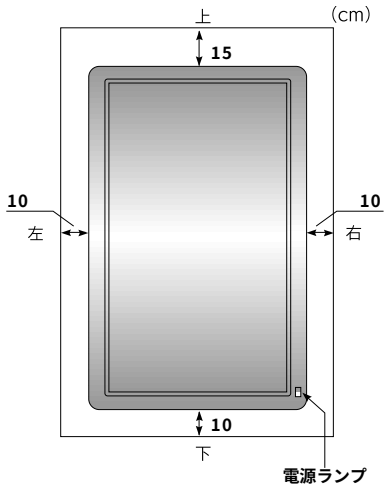
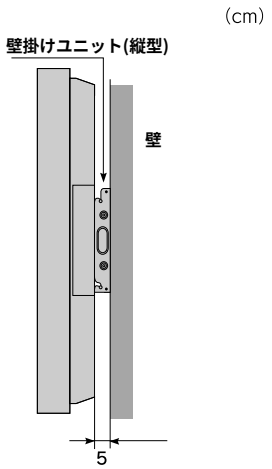


壁寄せユニット

前　面


※奥行き 5(cm)
壁寄せユニットをご使用されますと自動的に壁面との間に5(cm)の空間距離が保てます。

壁掛けユニット（縦型）

前　面	側　面
	

●縦型に設置するときは、電源ランプが下になるように設置してください。

お知らせ

●長時間、連続して同一画像（パターン）を表示しないでください。長時間同一画像を表示した場合その部分の輝度が変化し、画面の一部に残像として見えることがあります。

●連続して長時間画面を見ていると目が疲れます。ディスプレイから離れた場所で見ることをお推めします。（画面の縦の長さの 3 倍以上の距離が目安です）

●内部に異常がある場合、内蔵されている保護回路により自動的に電源が『切』(OFF)となります。その場合、電源ランプが赤色点滅し、故障したことをお知らせします。

※電源ランプが赤色で点滅している場合は、何らかの異常があったことをお知らせします。火災・感電の原因となりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、46 ページの『修理を依頼される前に』に従って点検するか、お買上げ窓口にご連絡ください。

●プラズマディスプレイパネルは、非常に精密度の高い技術でつくられていて、99.99％以上の有効画素があり、ほんのわずかの画素欠けや常時点灯するものもありますので、あらかじめご了承ください。

●他の AV 機器と相互に悪い影響を与える設置はしないでください。
（例えば、電磁波妨害などによる映像の乱れ、雑音や、赤外線リモコンの誤動作等が発生した場合には設置場所を変えてください。）

●縦型に設置したときには、静止画のみの表示となります。

転倒防止について

■事故防止と地震などの安全確保のため、転倒防止の処置をしてください。

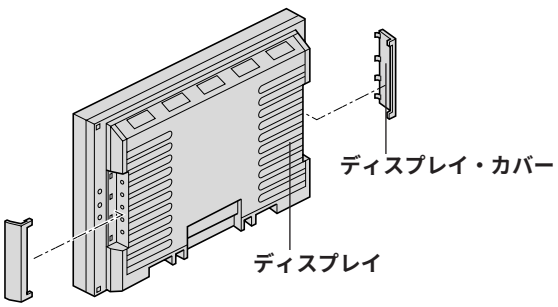
■壁または柱などに固定するとき

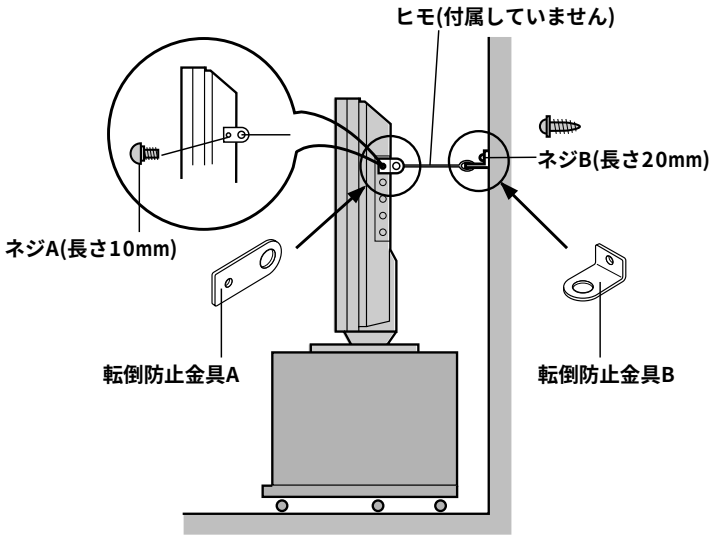
●両側面のディスプレイ・カバーをはずし、側面のネジ穴(5 カ所のうちの一番上の穴)に付属の転倒防止金具 A をネジ A(長さ 10mm)で取り付けてください。(左右 2 カ所)

●壁側に転倒防止金具 B をネジ B(長さ 20mm)で取り付け、転倒防止金具 A と転倒防止金具 B を丈夫なヒモ等でつないで、倒れないように固定してください。(左右 2 カ所)

●ヒモは水平または、後ろ下がりの方が安定します。

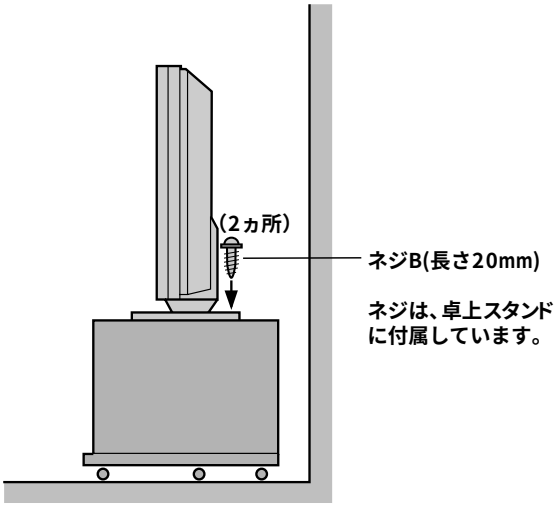
ディスプレイ・カバーのはずしかた





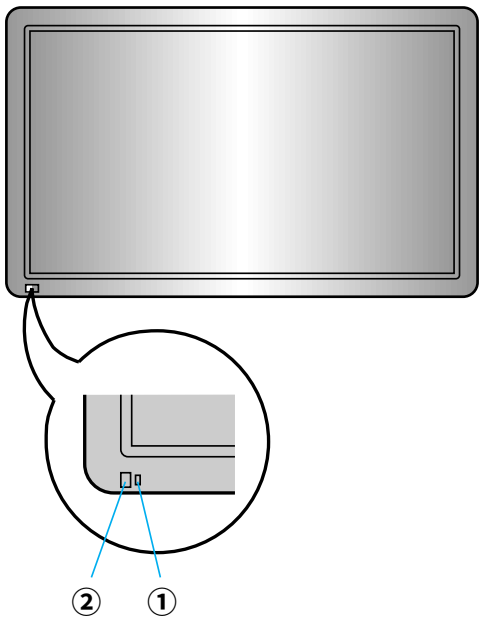
■卓上スタンドを固定するとき

●卓上スタンド後部の固定用ネジ穴を使用して、卓上スタンド付属のネジで固定してください(2カ所)。詳しくは、卓上スタンド P-42TT01 形の取付説明書をご覧ください。

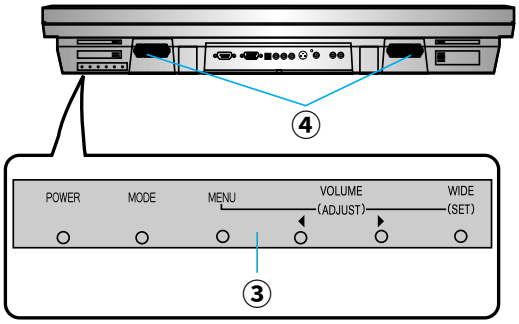


各部の名前と働き

■前面



■底面



①電源ランプ
・電源の『入』・『切』を表示します。
・点灯(赤色)…待機状態
・点灯(緑色)…電源『入』状態
・点滅(赤色)…内部に異常があります。必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

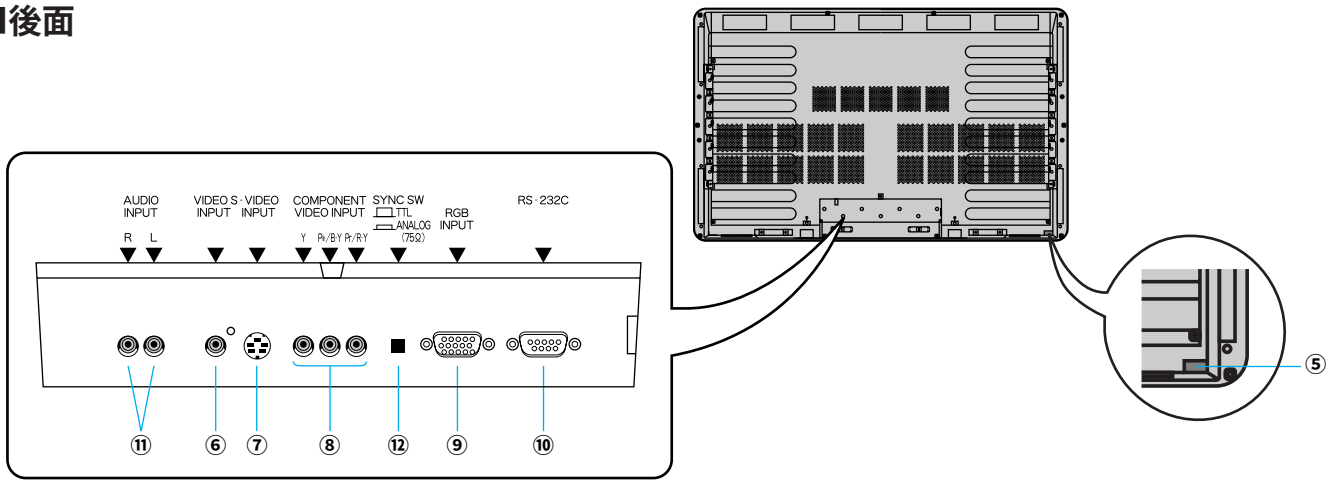
②リモコン受信部
・リモコンからの信号を受信します。

③操作部
・電源ボタン(POWER)…電源を『入』・『切』します。
・モード切換ボタン(MODE)…入力モードを切り換えます。
・メニューボタン(MENU)…お好みに合わせて映像や音声の調整をするときに使います。
・VOLUME(ADJUST)◀▶ボタン…通常時は音量を調整するときに使います。調整時はメニュー画面等のADJUST◀▶として使います。
・WIDE(SET)ボタン…通常時はワイド切換ボタンとしてお好みのワイド画面に切り換えるときに使います。
調整時は設定(SET)ボタンとして、メニュー画面等の決定をするときに使います。

④内蔵スピーカー
・音声入力端子に接続された音声を出力します。

各部の名前と働き

■後面



⑤主電源スイッチ
- 押すと電源ランプ①が『赤色』に点灯し、リモコンで電源の『入』『切』をすることができます。
  もう一度押すと主電源が切れ、電源ランプ①が消灯します。

⑥ビデオ入力端子（表示は VIDEO INPUT）
- ビデオデッキやビデオディスク等のビデオ出力端子と接続します。

⑦ S ビデオ入力端子（表示は S-VIDEO INPUT）
- ビデオデッキやビデオディスク等の S ビデオ出力端子と接続します。

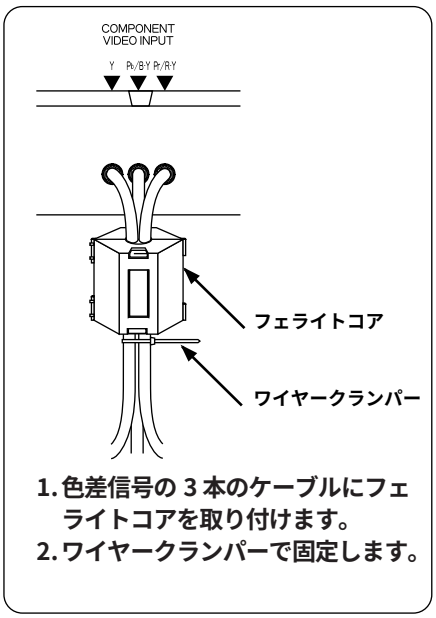
⑧コンポーネントビデオ入力端子（表示は COMPONENT VIDEO INPUT）
- ハイビジョン機器や DVD プレーヤー等の色差信号出力端子と接続します。
  接続するときには右図のようにフェライトコアとワイヤークランパーを端子近くに取り付けてください。不要電波の放射を軽減します。

⑨ RGB 入力端子（表示は RGB INPUT）
- パソコンのモニター（アナログ RGB）出力端子と接続します。
  信号ケーブルは、お持ちのパソコンにより異なりますので、お買上げ店に相談し、お買い求めください。

⑩ RS-232C 端子（表示は RS-232C）
- パソコンの RS-232C 端子と接続します。

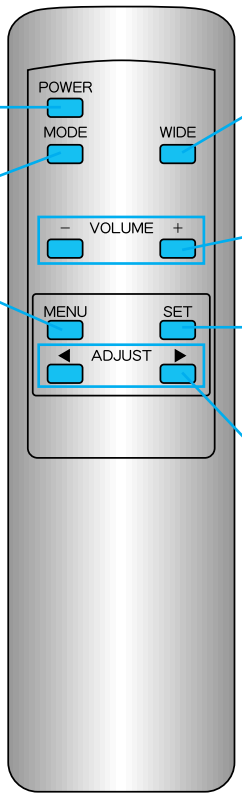
⑪音声入力端子（表示は AUDIO INPUT）
- ビデオデッキ等の音声出力端子と接続します。

⑫シンクスイッチ (表示は SYNC SW TTL/ANALOG(75 Ω))
- RGB 端子の 13 ピン水平同期信号、14 ピン垂直同期信号を 75 Ω で終端するためのスイッチです。
- RGB端子にアナログ同期信号を入力するときにはANALOG(75Ω)に、パソコンと接続するときには TTL に必ず設定してください。



1. 色差信号の 3 本のケーブルにフェライトコアを取り付けます。
2. ワイヤークランパーで固定します。

■リモコン



・電源ボタン(POWER) 15 ページ
電源を『入』・『切』します。

・モード切換ボタン(MODE) 15 ページ
入力モードを切り換えます。

・メニューボタン(MENU) 20～39ページ
お好みに合わせて、映像や音声の調整をするときに使用します。

・ワイド切換ボタン(WIDE) 16 ～ 19 ページ
お好みのワイド画面に切り換えるときに使用します。

・音量ボタン(VOLUME) 15 ページ
音量を調整するときに使用します。

・設定ボタン(SET) 20 ～ 39 ページ
メニューの項目や調整項目を決定するときに使用します。

・調整ボタン(ADJUST) 20 ～ 39 ページ
メニューの項目での調整時に使用します。

●調整メニューについては、 ページを参照ください。

便利な機能（オンスクリーン表示、スピーカー、ホワイトバランス、DPMS 、言語）…… 20 ～ 23 ページ
ビデオモード調整メニュー…… 24 ～ 31 ページ
RGBモード調整メニュー…… 32 ～ 39 ページ

使用上のお願い

・リモコンに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

・リモコンを水にぬらしたり、温度の高い所やストーブなどの熱器具の近くには置かないでください。故障や変形の原因となることがあります。

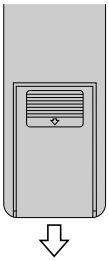
・ベンジン・シンナーなど揮発性の液体でふくことは避けてください。

各部の名前と働き

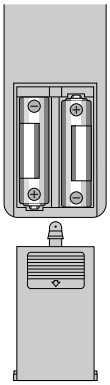
リモコンの取扱いについて

■電池の入れ方

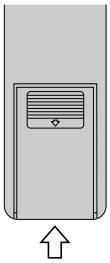
1. フタを押しながら矢印の方向にスライドさせ、フタを取ります。



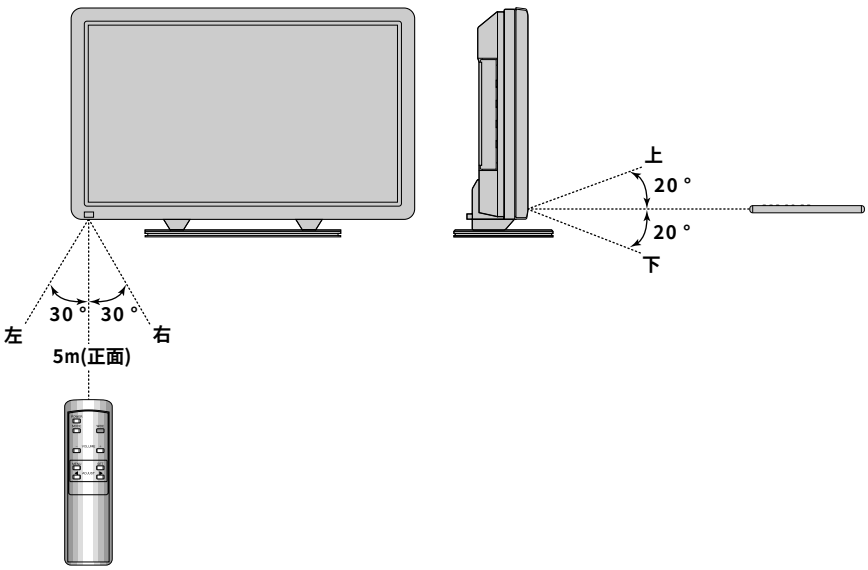
2. 単３形電池を２本入れます。(+、-)を間違えないように入れてください。



3. 『カチッ』と音がするまでフタを閉めます。



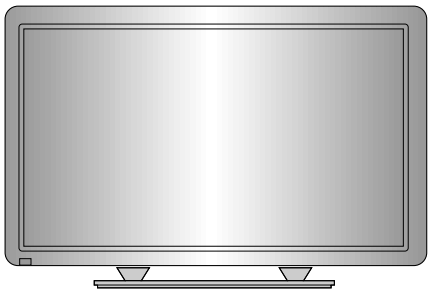
■リモコンの受信範囲



使用上のお願い

- リモコン受信部に向けて操作してください。また、本体のリモコン受信部とリモコンとの間に障害物がないようにしてください。
- 高周波蛍光灯などを使用していると、正しく動作しない場合があります。このようなときは、蛍光灯から離して使用してください。
- 長期間使用しますとリモコンの電池が弱って正しく動作しなくなったりします。その場合には、新しい電池と交換してください。
- 電池を交換するときは、2本とも新しい同じ種類のものをお使いください。

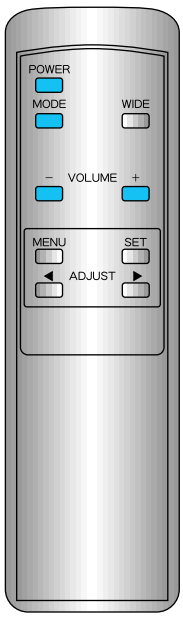
基本操作



準備

主電源スイッチを入にする

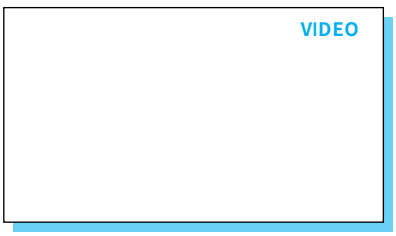
後面の主電源スイッチを押します。
電源ランプが点灯(赤色)します。
もう一度押すと電源が切になります。



※本機操作部のボタンでも操作ができます。

1 POWER ボタンを押す

電源ランプが『赤色』から『緑色』に変わります。

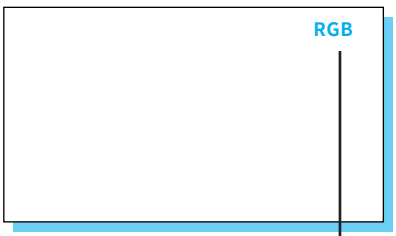


例：VIDEO モードの場合

2 映像を選択する

MODEボタンで映像を選択します。
押すごとに下図のように切り換わります。

RGB → VIDEO → S-VIDEO → COMP.VIDEO → RGB

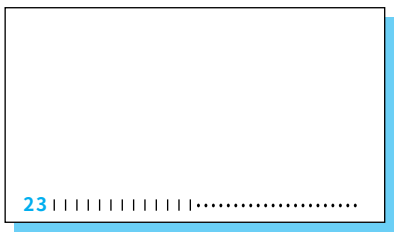


例：RGB を選んだとき

モード表示

＊音量を調整するとき

VOLUME ボタンで音量が調整できます。
+ボタン …音が大きくなります。(最大 63)
- ボタン …音が小さくなります。(最小 0)
※電源を『切』にしても現在の音量を記憶しています。

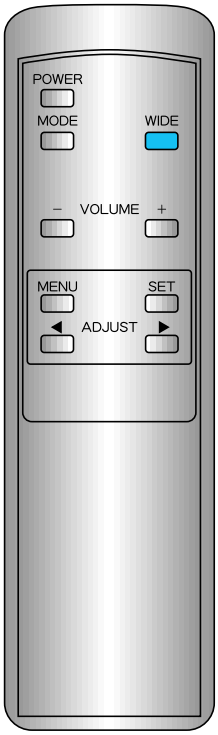


例：23 にしたとき

お知らせ

- COMP.VIDEO はコンポーネントビデオ(色差信号モード)を意味します。
- スピーカーの設定(21 ページ参照)が『OFF』になっているときに VOLUME ボタンを押すと『SPEAKER OFF』の表示をします。

ワイド画面を見るには(ビデオモード時)

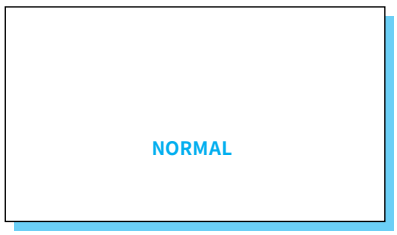


※本機操作部のボタンでも操作ができます。

■自動的にワイド画面にするとき（AUTO モード）

1 WIDE ボタンを押す

現在見ているモードが表示されます。



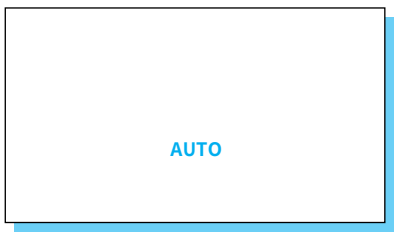
例：NORMAL の場合

2 WIDE ボタンで AUTO モードを選択する

押すごとに下図のように切り換わります。

NORMAL → AUTO → WIDE1 → WIDE2 → ZOOM1 → ZOOM2 → NORMAL

・AUTO を選択しておけば自動的に映像内容に適したワイド画面が選択されます。

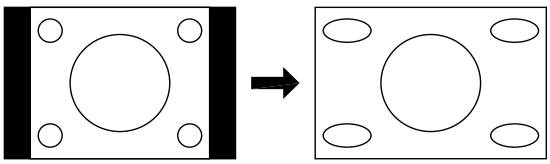


例：AUTO を選択したとき

※コンポーネントビデオモード中は AUTO モードは選択できません。

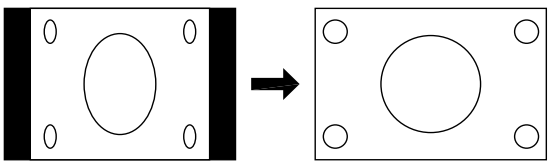
AUTO モードのときは、映像ソフトの内容を検知し、下記のように最適なワイド画面に切り換わります。

・WIDE1
通常の映像（4：3）を、違和感の少ないワイド画面として楽しめます。



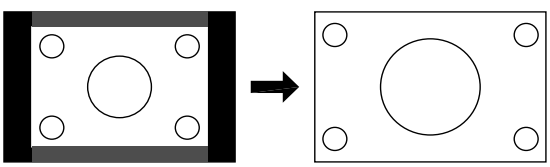
通常の映像(4:3 の映像) → WIDE 1

・WIDE2
16：9 の映像を 4：3 に圧縮した縦長の映像を楽しむ場合に最適です。



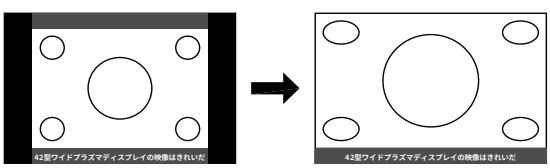
縦長の映像 → WIDE 2

・ZOOM1
横長の映像をお楽しみの場合、上下左右を拡大した最適な映像で楽しめます。



横長の映像 → ZOOM 1

・ZOOM2
字幕付きの横長映像をお楽しみの場合、字幕が欠けない程度に、字幕以外の部分を圧縮します。



字幕付き横長映像 ノーマルモードのとき → ZOOM 2 ワイド画面のとき

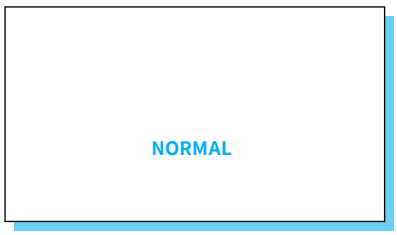
AUTO モードを選んだとき
オートモードのときは、映像ソフトの内容によっては、正しく動作しないことがあります。このときは、ワイドボタンで最適な画面サイズに切り換えてください。

例えば
- ゲームソフトをお楽しみの場合、ソフトによっては『ズーム』画面（画面の上下が欠ける）になることがあります。
- 4：3の映像ソフトでも上下が非常に暗いシーンでは『ズーム』画面になることがあります。
- 自動的に『ズーム』画面になる映像ソフトをお楽しみの場合、最初の暗いシーンのときは、しばらくの間『ズーム』画面にならない場合があります。

■お好みのワイド画面サイズにするとき

1 WIDE ボタンを押す

現在見ているモードが表示されます。



2 WIDE ボタンでお好みの画面サイズを選択する

押すごとに下図のように切り換わります。

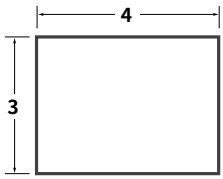
NORMAL → AUTO → WIDE1
ZOOM2 ← ZOOM1 ← WIDE2

例：WIDE1 を選択したとき

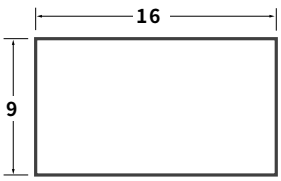
番組に応じて、お好みのワイド画面サイズにしてください。
※コンポーネントビデオモード中は AUTO モードは選択できません。

■画面の縦横比（アスペクト）

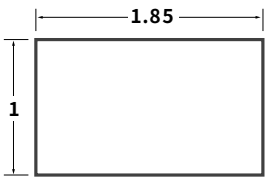
放送や映像の映像比率（画面の縦横比）には次のような種類があります。



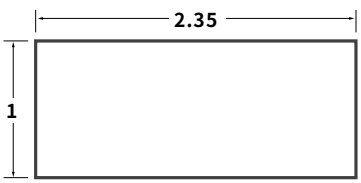
・VHF/UHF 放送
・BS 放送



・ハイビジョン放送
・ワイドクリアビジョン放送



・ビスタビジョンサイズソフト



・シネマビジョンサイズソフト

※映像ソフトによく見られるビスタビジョンサイズソフトやシネマビジョンサイズソフトを、ZOOM1 または ZOOM2 に設定しても、画面の上下に黒い部分が残る場合があります。

お願い

・本機は、各種の画面モード切換え機能を備えています。テレビ番組やビデオソフト等の映像比率と異なるモードを選択されると、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。

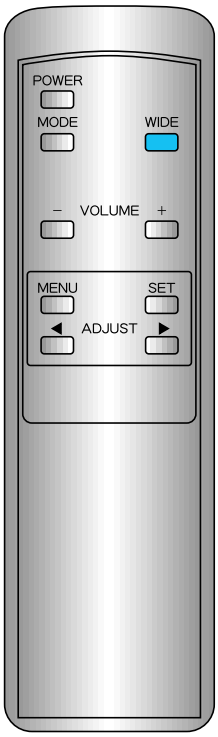
・本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテル等においてワイド切換え機能を利用して画面の大きさや縦横比を変えると、著作権法で保護されている著作権を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

・ワイド画面でない従来（通常）の 4：3 の映像をワイド切換え機能を利用して、画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。

・ビデオモードとはビデオモード、S-ビデオモード、コンポーネントビデオモードの総称です。

ワイド画面を見るには（RGBモード時）

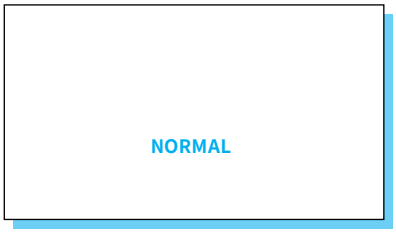


※本機操作部のボタンでも操作ができます。

■お好みのワイド画面サイズにするとき

1 WIDEボタンを押す

現在見ているモードが表示されます。



例：NORMALの場合

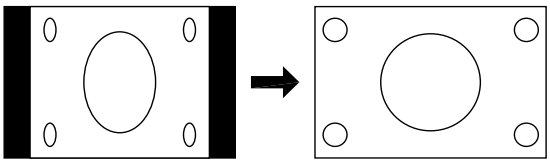
2 WIDEボタンでお好みの画面サイズを選択する

押すごとに下図のように切り換わります。

NORMAL ⟷ WIDE

例：WIDEを選んだ場合

■ワイド画面モード（RGB モード時）



縦長の映像
ノーマルモードのとき

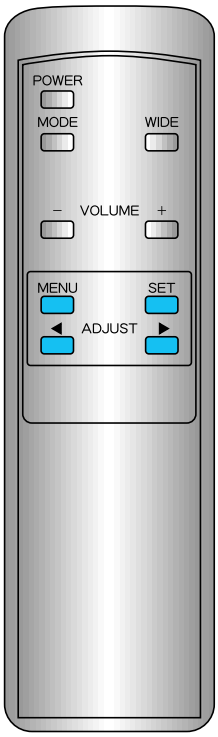
WIDE

お願い

・本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテル等においてワイド切換え機能を利用して画面の大きさや縦横比を変えると、著作権法で保護されている著作権を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

便利な機能



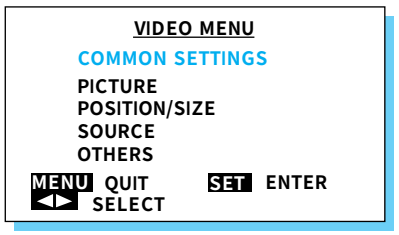
※本機操作部のボタンでも調整ができます。

■オンスクリーン表示の設定

1 VIDEO MENU画面で COMMON SETTINGSを選択する

①MENUボタンを押します。
②ADJUSUTボタンで COMMON SETTINGSを選択します。
③SETボタンを押して決定します。

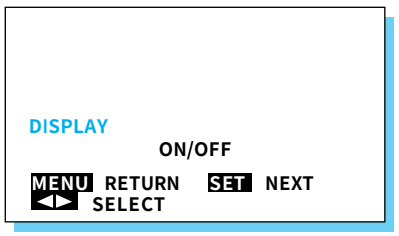
すべてのモード MENUから同様に COMMON SETTINGSの設定ができます。



例：COMMON SETTINGSを選択したとき

2 設定項目を選択する

SETボタンで DISPLAYを選択します。
押すごとに下図のように切り換わります。

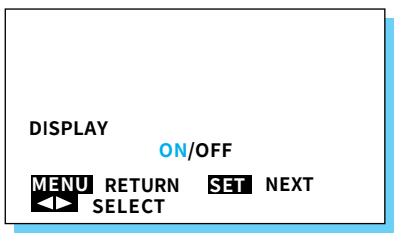


例：DISPLAYを選択したとき

3 お好みの設定をする

ADJUSTボタンで選択します。

ON…電源を入れたときや、モードを切り換えたときに数秒間モードをオンスクリーン表示します。
OFF…表示をしません。



例：ONを選択したとき

※調整を終了するとき

MENUボタンで VIDEO MENU画面に戻ります。

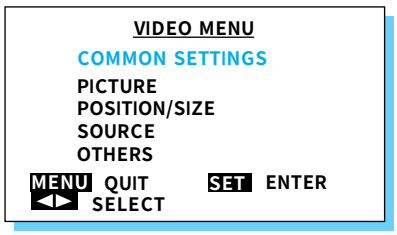
続けて押すと調整画面が終了します。

■内蔵スピーカーの設定

1 VIDEO MENU画面でCOMMON SETTINGSを選択する

① MENUボタンを押します。
② ADJUST ボタンでCOMMON SETTINGSを選択します。
③ SETボタンを押して決定します。

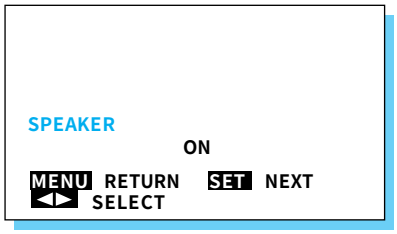
すべてのモードMENUから同様にCOMMON SETTINGSの設定ができます。



例：COMMON SETTINGSを選択したとき

2 設定項目を選択する

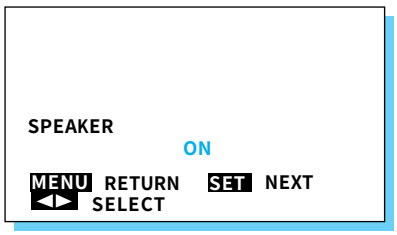
SETボタンでSPEAKERを選択します。
押すごとに下図のように切り換わります。



例：SPEAKERを選択したとき

3 内蔵スピーカーの設定をする

ADJUSTボタンで選択します。
押すごとに下図のように切り換わります。



例：ONを選択したとき

※調整を終了するとき

MENUボタンでVIDEO MENU画面に戻ります。

続けて押すと調整画面が終了します。

設定項目について

・SETボタンを押すごとに設定項目が選択できます。

内蔵スピーカーについて

ON: モードにかかわらず、内蔵スピーカーを使用するとき

RGB: RGBモードのときのみ内蔵スピーカーを使用するとき

VIDEO: ビデオモードのときのみ内蔵スピーカーを使用するとき

S-VIDEO: S-ビデオモードのときのみ内蔵スピーカーを使用するとき

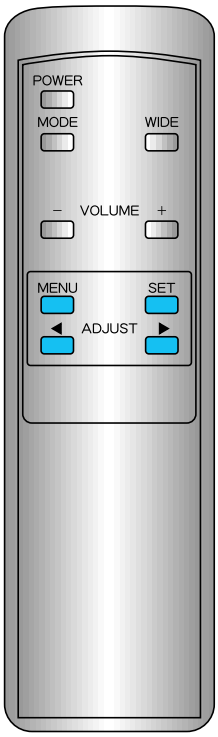
COMP.VIDEO: コンポーネントビデオモードのときのみ内蔵スピーカーを使用するとき

OFF: 内蔵スピーカーを使用しないとき

60秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

ビデオ、S-ビデオモード時、『SOURCE』は表示されません。

便利な機能



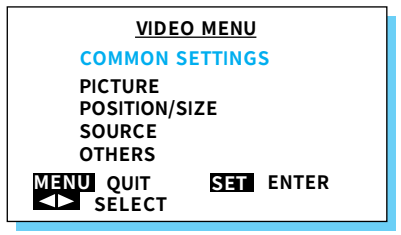
※本機操作部のボタンでも調整ができます。

■ホワイトバランスの設定

1 VIDEO MENU画面で COMMON SETTINGSを選択する

① MENUボタンを押します。
② ADJUSTボタンで COMMON SETTINGSを選択します。
③ SETボタンを押して決定します。

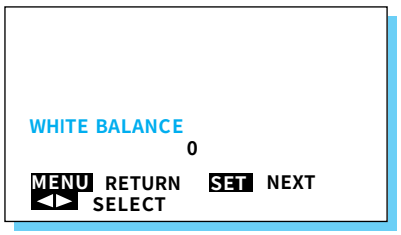
すべてのモード MENUから同様に COMMON SETTINGSの設定ができます。



例：COMMON SETTINGSを選択したとき

2 設定項目を選択する

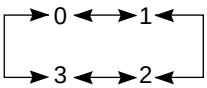
SETボタンで WHITE BALANCEを選択します。
押すごとに下図のように切り換わります。

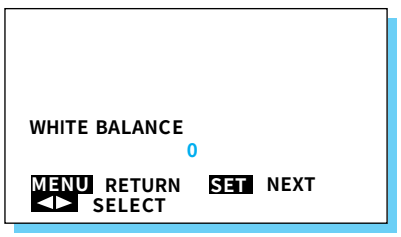


例:WHITE BALANCEを選択したとき

3 お好みの設定をする

ホワイトバランスの設定ができます。
ADJUSTボタンでお好みの色合いを選択します。
押すごとに下図のように切り換わります。





例：0を選択したとき

※調整を終了するとき

MENUボタンで VIDEO MENU画面に戻ります。

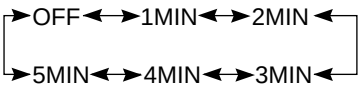
続けて押すと調整画面が終了します。

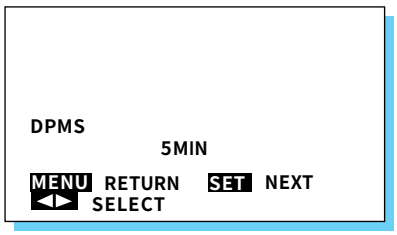
■ DPMSの設定、表示言語の設定

DPMS の設定

節電機能が働くまでの時間の設定ができます。

ADJUST ボタンで選択します。
押すごとに下図のように切り換わります。

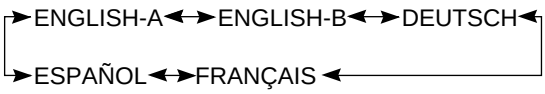


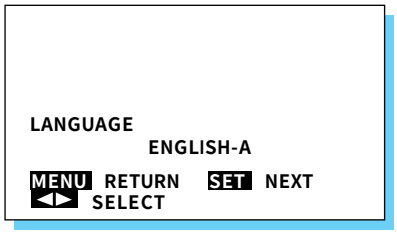


LANGUAGE(表示言語)の設定

表示する言語を設定できます。

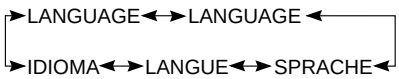
ADJUST ボタンで選択します。
押すごとに下図のように切り換わります。





（注）設定タイトル、ガイダンス表示も切り換わります。

設定タイトル



設定項目について

・SET ボタンを押すごとに設定項目が選択できます。

DPMS について

DPMS とは Display Power Management Signaling の略称で、自動的に本機の消費電力を減少させる機能です。

電源が入のとき、設定した時間内に信号が入力されないと、節電機能が働いて自動的に画面が消え、入力待機状態になります。

設定できる時間は、1～5分間で 1 分単位で設定することができます。また、節電機能を『切』にすることもできます。（工場出荷時は、『切』になっています）

LANGUAGE について

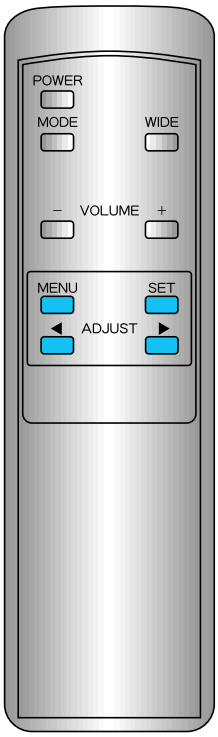
ENGLISH-A… 米語
ENGLISH-B… 英語
DEUTSCH……ドイツ語
FRANÇAIS……フランス語
ESPAÑOL…… スペイン語

60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

ビデオ、S - ビデオモード時、『SOURCE』は表示されません。

映像の調整（ビデオモード）

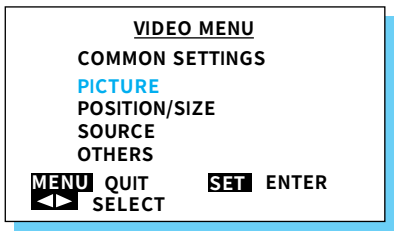
■ 例：BRIGHTNESS (明るさ) を調整するとき



※本機操作部のボタンでも調整ができます。

1 VIDEO MENU 画面で PICTURE を選択する

① MENU ボタンを押します。
②ADJUSTボタンで PICTURE を選択します。
③ SET ボタンを押して決定します。

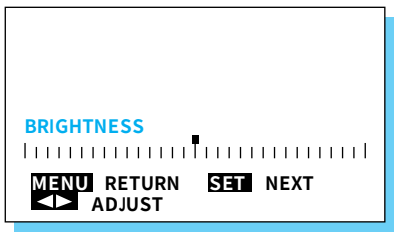


例：PICTURE を選択したとき

2 調整項目を選択する

SETボタンで BRIGHTNESSを選択します。
押すごとに下図のように切り換わります。

BRIGHTNESS → CONTRAST → COLOR → TINT → SHARPNESS → BRIGHTNESS

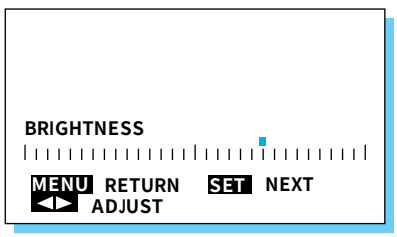


例：BRIGHTNESS を選択したとき

3 お好みの映像に調整する

▶ ボタンで明るくなります。
◀ ボタンで暗くなります。

※複数の項目を調整するときは
2、3 の操作を繰り返します。



例：▶ボタンを押したとき

※調整を終了するとき

MENU ボタンで VIDEO MENU 画面に戻ります。

続けて押すと調整画面が終了します。

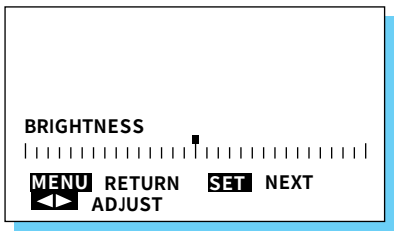
※調整した内容は、各ビデオモード（ビデオモード、S-ビデオモード、コンポーネントビデオモード）ごとに記憶します。

■映像調整項目

BRIGHTNESS（明るさ）

画面の明るさが調整できます。

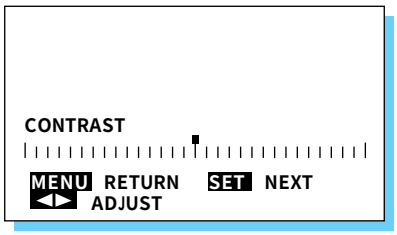
▶ ボタンで明るくなります。
◀ ボタンで暗くなります。



CONTRAST（コントラスト）

画面のコントラスト（画像の濃淡）が調整できます。

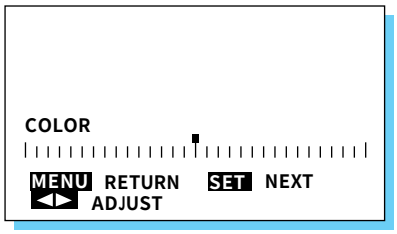
▶ ボタンで強くなります。
◀ ボタンで弱くなります。



COLOR（色の濃さ）

色の濃さが調整できます。

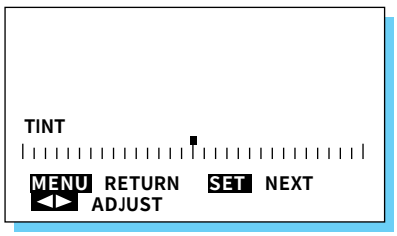
▶ ボタンで濃くなります。
◀ ボタンで薄くなります。



TINT（色合い）

色合いが調整できます。

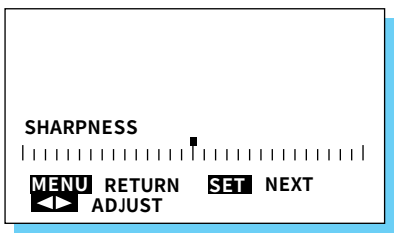
▶ ボタンで緑がかります。
◀ ボタンで紫がかります。



SHARPNESS（画質）

画面の鮮明さが調整できます。

▶ ボタンでシャープな映像になります。
◀ ボタンでソフトな映像になります。



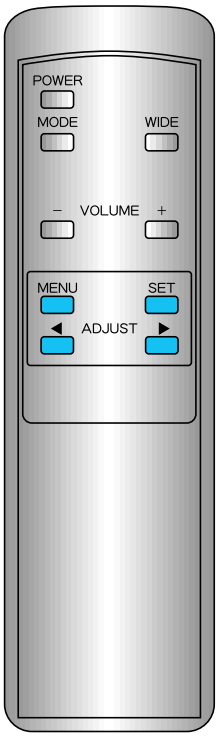
調整項目について

- SET ボタンを押すごとに、映像調整項目が選択できます。
- ビデオモードとはビデオモード、S-ビデオモード、コンポーネントビデオモードの総称です。
- 調整項目の内容は、各ビデオモードごとに記憶します。

60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

ビデオ、S - ビデオモード時、『SOURCE』は表示されません。

画面の調整（ビデオモード）

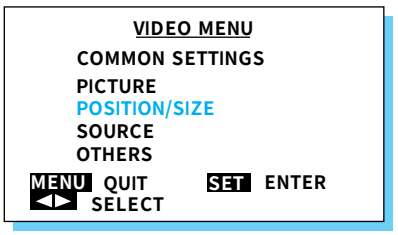


※本機操作部のボタンでも調整ができます。

■例：画面の垂直位置を調整するとき

1 VIDEO MENU 画面で POSITION /SIZE を選択する

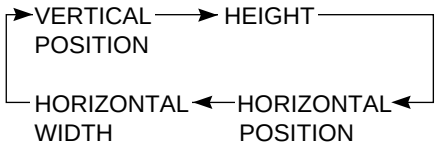
①MENU ボタンを押します。
②ADJUST ボタンで POSITION / SIZE を選択します。
③SET ボタンを押して決定します。

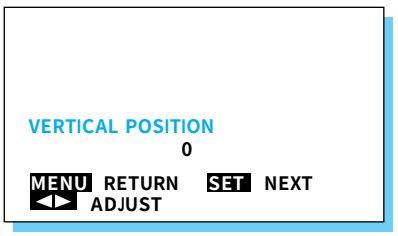


例：POSITION/SIZE を選択したとき

2 調整項目を選択する

SETボタンでVERTICAL POSITION を選択します。
押すごとに下図のように切り換わります。





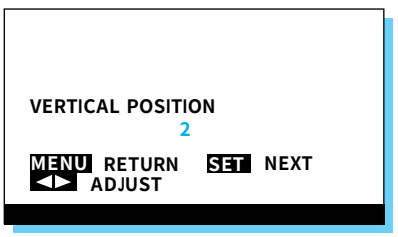
例：VERTICAL POSITION を選択したとき

3 ADJUST ボタンで調整する

▶ ボタン…画面が上方向に移動します。
◀ ボタン…画面が下方向に移動します。

調整の範囲は右ページを参照ください。

複数の項目を調整するときは
2、3 を繰り返します。



例：▶ ボタンを押したとき

※調整を終了するとき

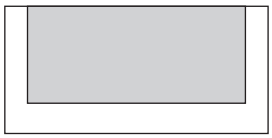
MENU ボタンで VIDEO MENU 画面に戻ります。

続けて押すと調整画面が終了します。

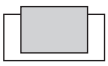
※調整した内容は、各ビデオモード（ビデオモード、S-ビデオモード、コンポーネントビデオモード）ごとに記憶します。

■調整項目一覧（調整の目安）

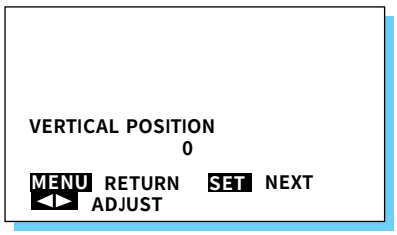
VERTICAL POSITION（垂直位置調整）



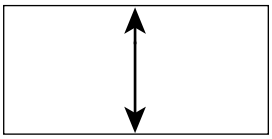
下に寄っているとき…▶ ボタンで調整



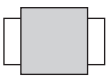
上に寄っているとき… ◀ ボタンで調整



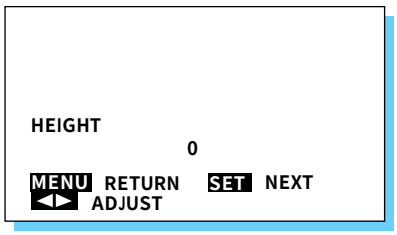
HEIGHT（垂直幅調整）



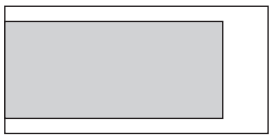
小さすぎるとき… ▶ ボタンで調整



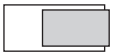
大きすぎるとき… ◀ ボタンで調整



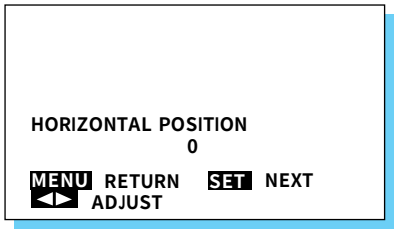
HORIZONTAL POSITION（水平位置調整）



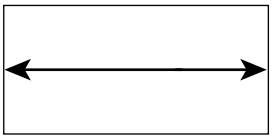
左に寄っているとき… ▶ ボタンで調整

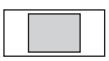


右に寄っているとき… ◀ ボタンで調整



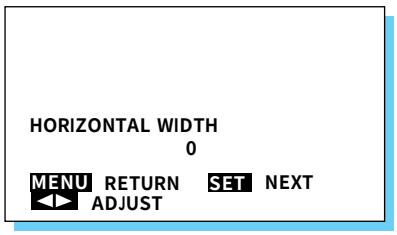
HORIZONTAL WIDTH（水平幅調整）





小さすぎるとき… ▶ ボタンで調整

大きすぎるとき… ◀ ボタンで調整



調整項目について

・SET ボタンを押すごとに調整項目が選択できます。

・それぞれの項目の調整範囲は下記の通りです。

VERTICAL POSITION
・ビデオ、S-ビデオモード
ワイド画面：ZOOM -15 ～ 15
その他 -7 ～ 7
・コンポーネントビデオモード -90 ～ 90

HEIGHT
・ビデオ、S-ビデオモード -7 ～ 7
・コンポーネントビデオモード -70 ～ 70

HORIZONTAL POSITION
・ビデオ、S-ビデオモード -31 ～ 31
・コンポーネントビデオモード -90 ～ 90

HORIZONTAL WIDTH
・すべてのモード -7 ～ 7

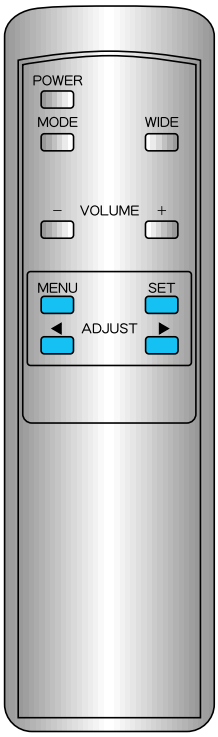
・ビデオモードとは、ビデオモード、S-ビデオモード、コンポーネントビデオモードの総称です。

・調整項目の内容は、各ビデオモードごとに記憶します。

60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

ビデオ、S-ビデオモード時、『SOURCE』は表示されません。

入力ソースの設定（ビデオモード）



※本機操作部のボタンでも調整ができます。

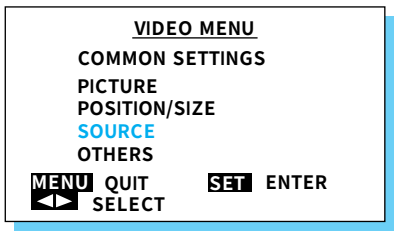
■例：コンポーネントビデオを設定するとき

コンポーネントビデオ入力端子に色差信号を接続するときに設定を行ってください。

1 VIDEO MENU 画面で SOURCE を選択する

①コンポーネントビデオモードで MENU ボタンを押します。
②ADJUST ボタンで SOURCE を選択します。
③SET ボタンを押して決定します。

※この設定はコンポーネントビデオモードのときにしか、行えません。

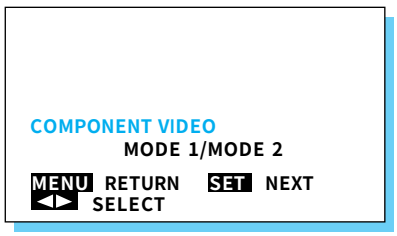


例：SOURCE を選択したとき

2 設定項目を選択する

SET ボタンで COMPONENT VIDEO を選択します。
押すごとに下図のように切り換わります。

COMPONENT VIDEO ⟷ CLAMP PULSE

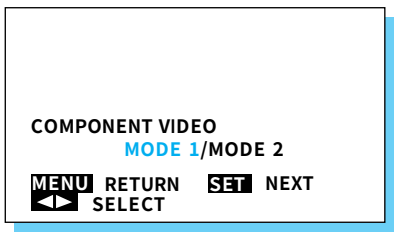


例：COMPONENT VIDEO を選択したとき

3 接続した機器を設定する

ADJUST ボタンで選択します。

MODE1…DVD プレーヤー等の色差信号を接続するときに設定します。
MODE2…ハイビジョン機器等の色差信号を接続するときに設定します。



例：MODE1 を選択したとき

※調整を終了するとき

MENU ボタンで VIDEO MENU 画面に戻ります。

続けて押すと調整画面が終了します。

※コンポーネントビデオの設定は、コンポーネントビデオモードのときにしか、行えません。

■クランプパルスの調整

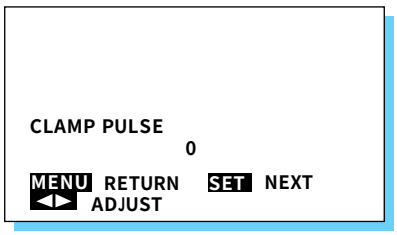
CLAMP PULSE

コンポーネントビデオ入力端子に色差信号を接続する場合には、クランプパルスの調整が必要です。

この調整はクランプパルスの位相を切り換えることができます。

ADJUSTボタンで調整します。
調整の範囲は0~ 4までです。

最適な映像となるように選択してください。



設定・調整項目について

・SETボタンを押すごとに切り換わります。

・クランプパルスの調整は、接続した機器の信号により、以下のように選択してください。

1 …ハイビジョン機器等

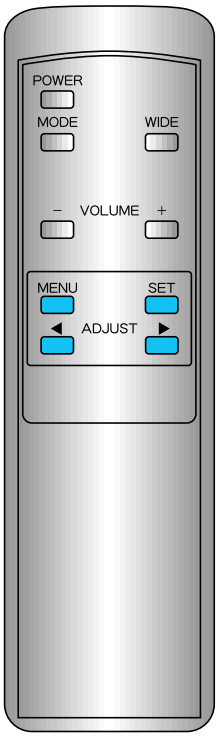
4 … DVDプレーヤー等

上記以外の機器を接続するときは、最適な映像となるように選択してください。

60秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

ビデオ、S-ビデオモード時、『SOURCE』は表示されません。

その他の設定（ビデオモード）

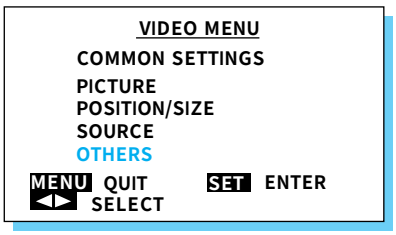


※本機操作部のボタンでも調整ができます。

■例：ガンマの設定をするとき

1 VIDEO MENU 画面で OTHERS を選択する

① MENU ボタンを押します。
② ADJUST ボタンで OTHERS を選択します。
③ SET ボタンを押して決定します。

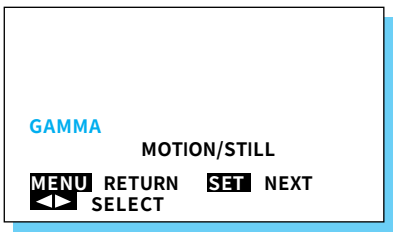


例：OTHERS を選択したとき

2 設定項目を選択する

SET ボタンで GAMMA を選択します。
押すごとに下図のように切り換わります。

GAMMA ⟷ GRADATION

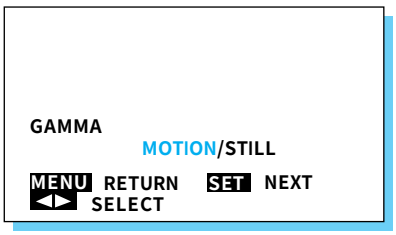


例：GAMMA を選択したとき

3 お好みの映像を選択する

ADJUST ボタンで選択します。

MOTION…動画をご覧になるとき、最適な映像となるように自動補正します。
STILL…静止画をご覧になるとき、最適な映像となるように自動補正します。



例：MOTION を選択したとき

※調整を終了するとき

MENU ボタンで VIDEO MENU 画面に戻ります。

続けて押すと調整画面が終了します。

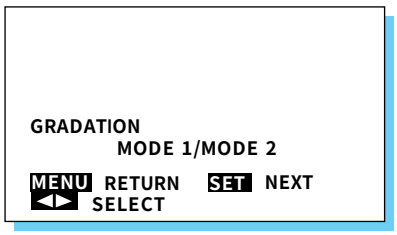
※設定した内容は、各ビデオモード（ビデオモード、S-ビデオモード、コンポーネントビデオモード）ごとに記憶します。

■その他の設定項目

GRADATION

動画または静止画に適した階調表示を選択することができます。

MODE1…動画をご覧になるとき、最適な映像となります。
MODE2…静止画をご覧になるとき、最適な映像となります。



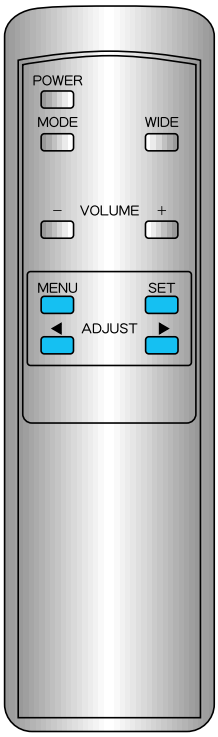
設定項目について

- SETボタンを押すごとに設定項目が選択できます。
- ビデオモードとは、ビデオモード、S-ビデオモード、コンポーネントビデオモードの総称です。
- 設定した内容は、各ビデオモードごとに記憶します。

60秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

ビデオ、S-ビデオモード時、『SOURCE』は表示されません。

映像の調整（RGB モード）

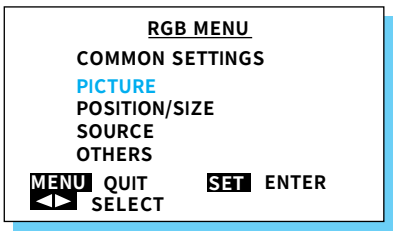


※本機操作部のボタンでも調整ができます。

■例：CONTRAST を調整するとき

1 RGB MENU 画面で PICTURE を選択する

① MENU ボタンを押します。
② ADJUST ボタンで PICTURE を選択します。
③ SET ボタンを押して決定します。

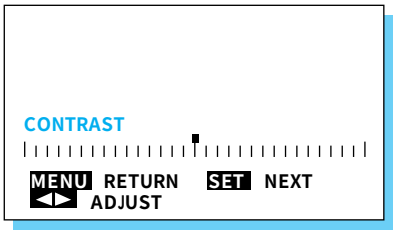


例：PICTURE を選択したとき

2 調整項目を選択する

SET ボタンで CONTRAST を選択します。
押すごとに下図のように切り換わります。

BRIGHTNESS ⇔ CONTRAST

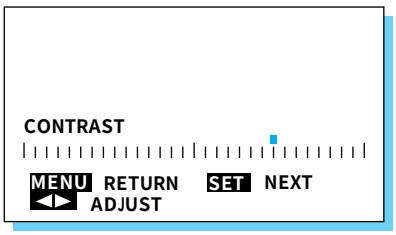


例：CONTRAST を選択したとき

3 お好みの映像に調整する

▶ ボタン…強くなります。
◀ ボタン…弱くなります。

複数の項目を調整するときは
2、3 を繰り返します。



例：▶ ボタンを押したとき

※調整を終了するとき

MENU ボタンで RGB MENU 画面に戻ります。

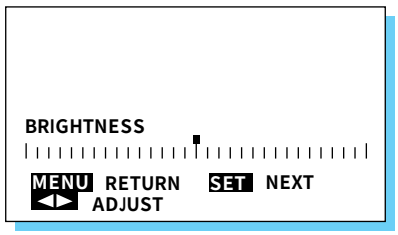
続けて押すと調整画面が終了します。

■映像調整項目

BRIGHTNESS

画面の明るさが調整できます。

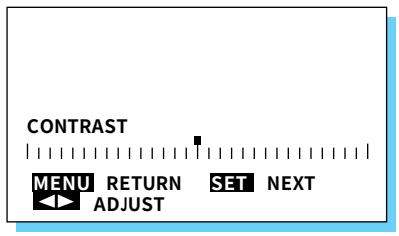
▶ ボタンで明るくなります。
◀ ボタンで暗くなります。



CONTRAST

画面のコントラスト（画像の濃淡）が調整できます。

▶ ボタンで強くなります。
◀ ボタンで弱くなります。

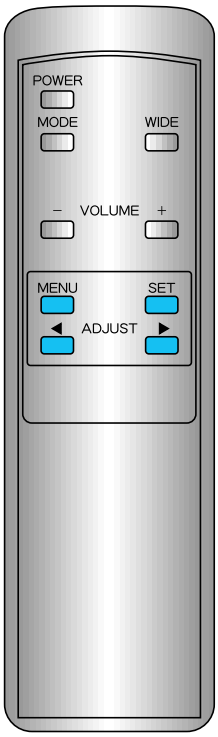


調整項目について

・SET ボタンを押すごとに調整項目が選択できます。

60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

画面の調整（RGB モード）

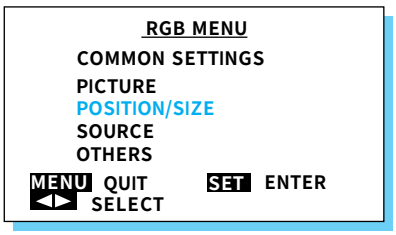


※本機操作部のボタンでも調整ができます。

■例：画面の垂直幅を調整するとき

1 RGB MENU画面で POSITION /SIZE を選択する

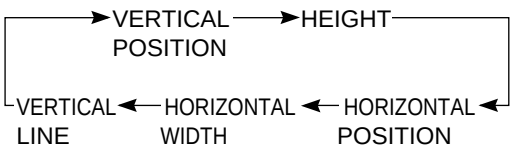
①MENU ボタンを押します。
②ADJUST ボタンで POSITION / SIZE を選択します。
③SET ボタンを押して決定します。

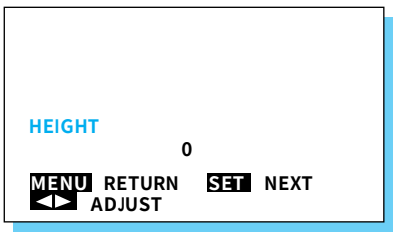


例：POSITION/SIZE を選択したとき

2 調整項目を選択する

SET ボタンで HEIGHT を選択します。
押すごとに下図のように切り換わります。





例：HEIGHT を選択したとき

3 ADJUST ボタンで調整する

▶ボタン…画面が拡大されます。
◀ボタン…画面が縮小されます。

調整の範囲は -150 ～ 150 までです。

複数の項目を調整するときは
②、③を繰り返します。

例：◀ ボタンを押したとき

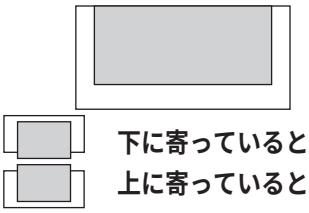
※調整を終了するとき

MENU ボタンで RGB MENU 画面に戻ります。

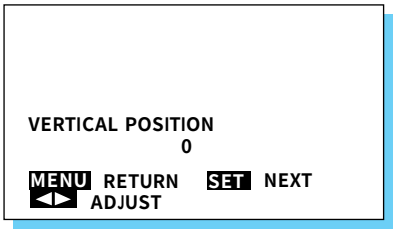
続けて押すと調整画面が終了します。

■調整項目一覧（調整の目安）

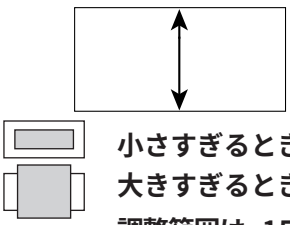
VERTICAL POSITION（垂直位置調整）



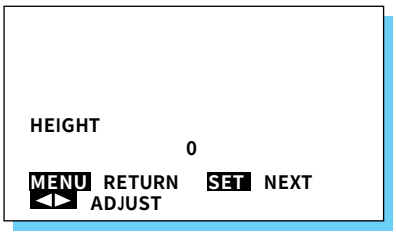
下に寄っているとき…▶ ボタンで調整
上に寄っているとき…◀ ボタンで調整
調整範囲は -250 ～ 250 までです。



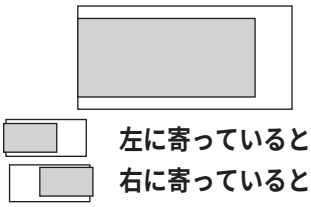
HEIGHT（垂直幅調整）



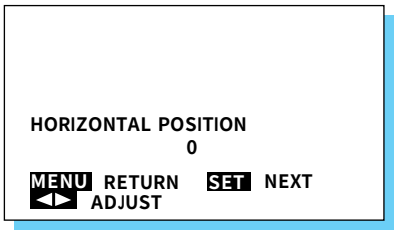
小さすぎるとき… ▶ ボタンで調整
大きすぎるとき… ◀ ボタンで調整
調整範囲は -150 ～ 150 までです。



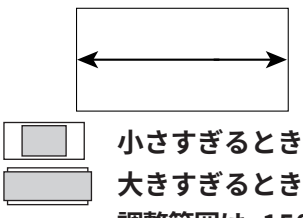
HORIZONTAL POSITION（水平位置調整）



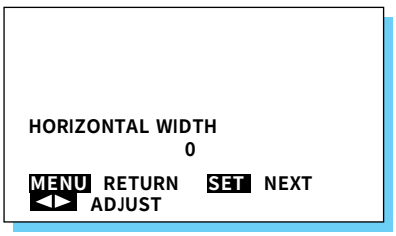
左に寄っているとき…▶ ボタンで調整
右に寄っているとき…◀ ボタンで調整
調整範囲は -250 ～ 250 までです。



HORIZONTAL WIDTH（水平幅調整）



小さすぎるとき… ▶ ボタンで調整
大きすぎるとき… ◀ ボタンで調整
調整範囲は -150 ～ 150 までです。

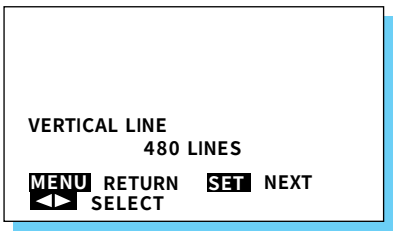


VERTICAL LINE（垂直ライン設定）

画面の垂直方向のライン数を設定できます。

ADJUST ボタンで選択します。
押すごとに下図のように切り換わります。

480LINES ⟷ 400LINES
350LINES



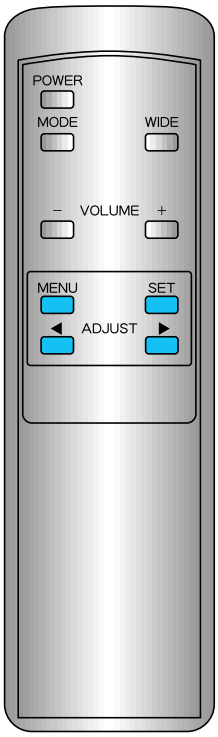
調整項目について

- SET ボタンを押すごとに調整項目が選択できます。
- 調整したときに、画面が乱れることがありますので、その場合には、調整値を元に戻してください。

60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

入力ソースの設定（RGB モード）

入力ソースは、マッキントッシュモードの設定、クランプパルスの調整、入力信号の確認ができます。



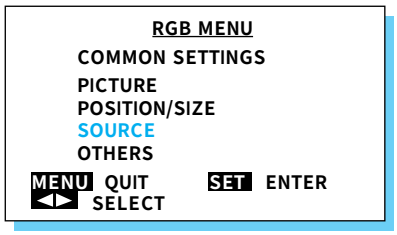
※本機操作部のボタンでも調整ができます。

■例：マッキントッシュモードを設定するとき

アップル社のマッキントッシュには、2 種類のドットクロックがあります。表示が切れたり、映像とドットクロックが合わない場合には以下の設定を行ってください。

1 RGB MENU画面で SOURCE を選択する

① MENU ボタンを押します。
② ADJUST ボタンで SOURCE を選択します。
③ SET ボタンを押して決定します。

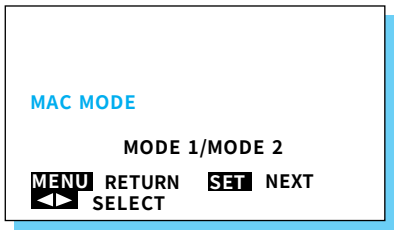


例：SOURCE を選択したとき

2 設定項目を選択する

SET ボタンで MAC MODE を選択します。
押すごとに下図のように切り換わります。

MAC MODE → CLAMP PULSE → SIGNAL INFORMATION → MAC MODE

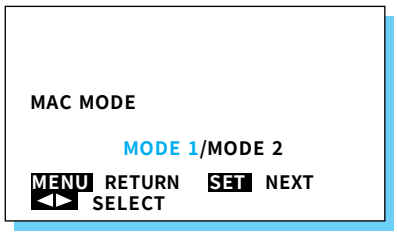


例：MAC MODE を選択したとき

3 ドットクロックが合うように適切なモードを選択する

ADJUST ボタンで選択します。
押すごとに下図のように切り換わります。

MODE 1 ⟷ MODE2



例：MODE 1 を選択したとき

	f_H	f_V
MODE1	35kHz	66.67Hz
MODE2	34.97kHz	66.61Hz

複数の項目を設定するときは
②、③を繰り返します。

※調整を終了するとき

MENU ボタンで RGB MENU 画面に戻ります。

続けて押すと調整画面が終了します。

■その他の調整、確認項目

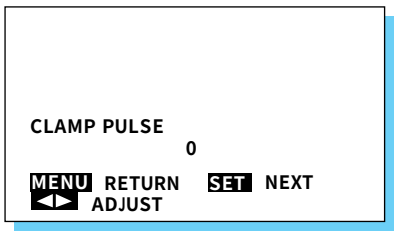
CLAMP PULSE

RGB 入力端子に信号を接続する場合には、クランプパルスの調整が必要です。

この調整はクランプパルスの位相を切り換えることができます。

ADJUST ボタンで調整します。
調整の範囲は 0~ 4 までです。

最適な映像となるように選択してください。



SIGNAL INFORMATION

RGB 入力端子から入力される同期信号の情報を確認することができます。

MODE：固定モード番号
（40 ページのモード番号を示します）

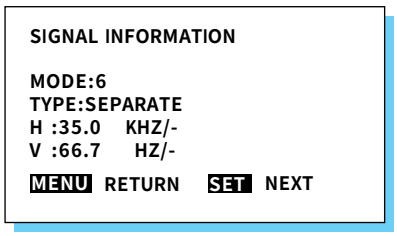
TYPE：コンポジット、セパレートまたはシンクオングリーン（SYNC ON GREEN）

H：水平同期信号の周波数

V：垂直同期信号の周波数

+,-：それぞれの同期信号の極性

を表します。



※詳しくは、40 ページの『接続されるパソコンについて』を参照ください。

※無信号を検出した場合には『NO SIGNAL』の表示を行います。

調整・確認項目について

- SET ボタンを押すごとに切り換わります。
- クランプパルスの調整は、接続した機器の信号により、以下のように選択してください。

0 … ノーマル

1 … ハイビジョン

2 … その他

3 … MAC

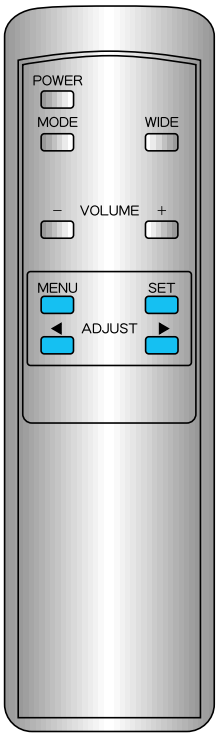
4 … NTSC

お知らせ

入力信号の機種によって SYNC ON GREEN と他の同期信号を同時に入力すると画面のバックが明るくなり過ぎたり、緑がかった表示になることがあります。このような場合はクランプパルスの調整を 3 にしてください。

60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

その他の設定（RGB モード）

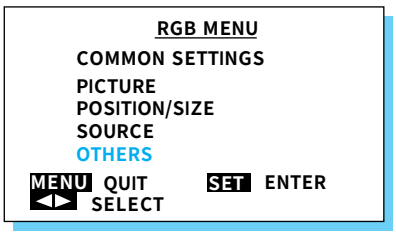


※本機操作部のボタンでも調整ができます。

■例：GRADATION（階調）を設定するとき

1 RGB MENU 画面で OTHERS を選択する

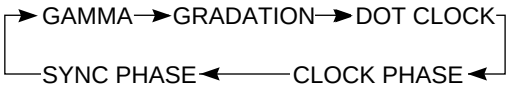
① MENU ボタンを押します。
② ADJUST ボタンで OTHERS を選択します。
③ SET ボタンを押して決定します。

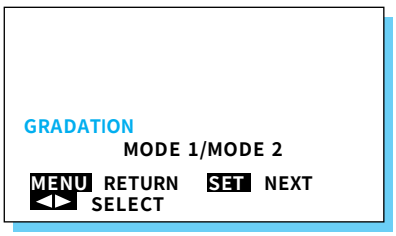


例：OTHERS を選択したとき

2 設定項目を選択する

SET ボタンで GRADATION を選択します。
押すごとに下図のように切り換わります。





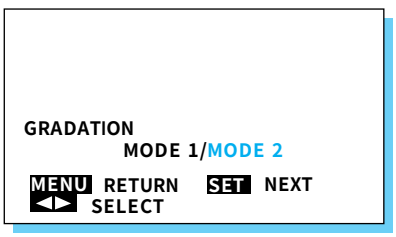
例：GRADATION を選択したとき

3 お好みの映像に設定する

ADJUST ボタンで選択します。

MODE1 …動画をご覧になるとき、最適な映像となります。
MODE2 …静止画をご覧になるとき、最適な映像となります。

複数の項目を設定するときは
2、3 を繰り返します。



例：MODE 2 を選択したとき

※調整を終了するとき

MENU ボタンで RGB MENU 画面に戻ります。

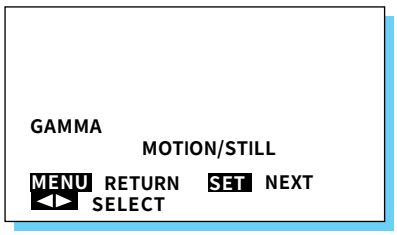
続けて押すと調整画面が終了します。

■その他の設定・調整項目（調整の目安）

GAMMA

ダイナミックガンマ補正の設定ができます。

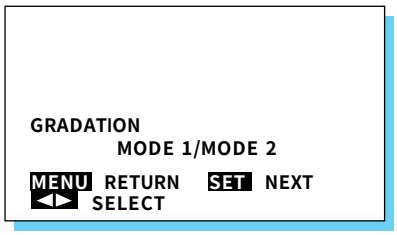
MOTION ‥‥ 動画をご覧になるとき
STILL ‥‥‥ 静止画をご覧になるとき設定してください。



GRADATION

階調の設定ができます。

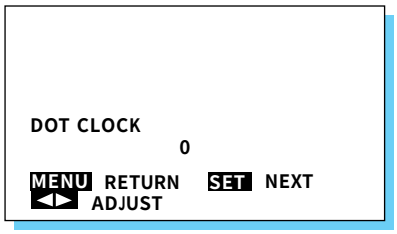
MODE1 … 動画をご覧になるとき
MODE2 … 静止画をご覧になるとき設定してください。



DOT CLOCK

パソコンのクロック周波数の違いによって、画面がぼやける場合がありますのでそのときには、調整してください。

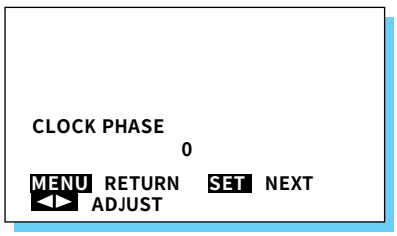
ADJUSTボタンで -300~ 300 の範囲で調整できます。



CLOCK PHASE

パソコンのクロックフェーズ位相の違いによって、画面がぼやける場合がありますのでそのときには、調整してください。

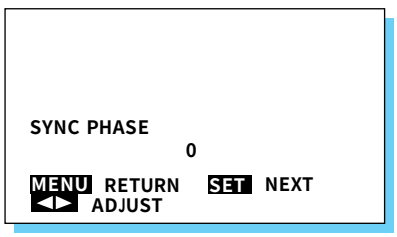
ADJUSTボタンで 0~ 15 の範囲で調整できます。



SYNC PHASE

垂直方向に画面が揺れる場合がありますのでそのときには、調整してください。

ADJUSTボタンで-2~ 1の範囲で調整できます。



設定・調整項目について

- SETボタンを押すごとに切り換わります。
- GRADATIONはSVGAモードを自動識別したときには設定できません。
- DOT CLOCK、CLOCK PHASEの調整はワイドボタンでノーマルモードにしてから行ってください。
- SVGAモードを自動識別したときに、接続する機器によっては画面が乱れることがあります。そのときは『DOT CLOCK』を調整してください。

60秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

接続されるパソコンについて

本機は、あらかじめ工場出荷時に1 1種類の信号（下表参照）に対して各調整値が設定されていますので、これらの1 1種類の信号が入力されると自動的に判別して表示します。これらの信号に対して、『画面の調整』の説明にしたがってお好みの画面に調節することができます。（34 ～ 35 ページ参照）

本機は、下表の工場出荷時に設定された信号以外に5種類の信号についてメモリーすることができます。メモリーしたい信号を入力し、『画面の調整』の説明に従ってお好みの画面に調節してください。各調節ボタンを離すと、自動的にそのレベルがメモリーされます。調節後、同じ信号が入力されると最後にメモリーされたレベルで表示されます。

工場出荷設定信号

モード番号	表示（ドット×ライン）	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	対応信号
1	852 × 480	31.72	59.97	※1 専用グラフィックボード使用時
2	640 × 480	31.47	59.94	VGA
3	640 × 480	37.86	72.81	VGA 72 Hz
4	640 × 480	37.50	75.00	VGA 75 Hz
5	720 × 400	31.47	70.09	VGA 400 ライン
6	640 × 480	34.97	66.61	MAC 13RGB (1)
	640 × 480	35.00	66.67	MAC 13RGB (2)
7	640 × 400	24.83	56.42	PC98 24kHz
8	640 × 400	31.50	70.15	PC98 31kHz
9	800 × 600	35.16	56.25	SVGA 56Hz ※2
10	640 × 480	15.73	59.94	60 フィールド
11	640 × 480	15.63	50.00	50 フィールド
12 13 14 15 16		15.63 ～ 60.00	50.00 ～ 75.00	ユーザー設定

※ 1:専用グラフィックボードは、オプション品です。
※ 2:本機の 800 × 600 モードは縮小補間による圧縮表示です。また画面表示も縮小されて表示します。

お知らせ

本書に掲載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
モード番号は RGB モード・入力ソースの設定『SIGNAL INFORMATION』の MODE を示します。

■本機を Windows でご使用するときは、以下の手順で設定をお願いします。

1. タスクバーの『スタート』をクリックし、『設定』メニューから『コントロールパネル』をクリックします。
2. 『コントロールパネル』が開いたら、その中の『画面』アイコンをダブルクリックします。
3. 画面上方の『ディスプレイの詳細』タブをクリックします。

■『ディスプレイの変更』を行います。

4. 『製造元（M）』の中から『FUJITSU　GENERAL』を選択します。
5. 同時に右側の画面『モデル（D）』の中から『PDS4203』を選択し、『OK』をクリックします。ここで『PDS4203』が表示されないときには、『PDS4201』を選択してください。
6. 『閉じる』をクリックします。

一度設定を行いますと、パソコン本体に記憶されますので、以降この操作は、必要ありません。
『製造元（M）』の中で FUJITSU GENERAL が表示されない Windows の場合は、『解像度の設定』だけを行ってください。

■『解像度の設定』を行います。

7. マウスポインターを『ディスクトップ領域（D）』のハンドルを下記のように設定します。

・オプション品のグラフィックボード（P-42GA01 形）を使用する場合
　852 × 480 ピクセルもしくは、640 × 480 ピクセルの設定をします。
・グラフィックボード（P-42GA01 形）を使用しない場合
　640 × 480 ピクセルの設定をします。

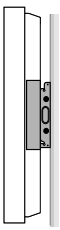
8. 『OK』をクリックします。
9. 『画面のプロパティ』が表示されたら、『OK』をクリックします。
10. 『ディスプレイの設定』が表示されたら、『はい、（Y）』をクリックします。

以上で設定した解像度に設定されます。

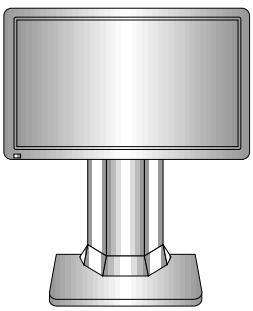
オプション品について

壁掛けユニット（横型）	取付け角度　0°　用	P-42WB01 形
	取付け角度　5°　用	P-42WB02 形
	取付け角度 10°用	P-42WB03 形
	取付け角度 15°用	P-42WB04 形

壁掛けユニット（縦型）	取付け角度　0°用	P-42WB50 形

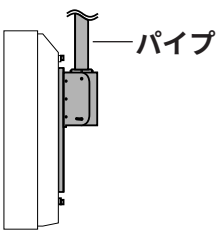


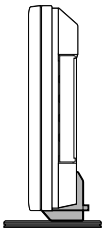
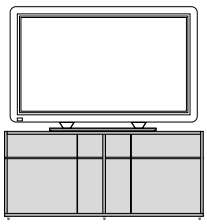
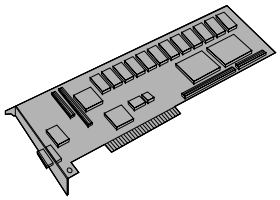
壁寄せユニット（横型）	取付け角度　0°用	P-42WF01-S形



天吊りユニット	取付け角度0°～15°可変	P-42CT01 形

パイプは、天吊りユニットに付属されていませんので、お買上げ窓口にご相談してください。



卓上スタンド		P-42TT01 形 
フロアラック		P-42FT01 形 ※卓上スタンド（P-42TT01 形）が必要です。 
グラフィックボード	DOS/V パソコンにグラフィックボードを使用することにより、852 ドット × 480 ライン のワイド画面を表示することができます	P-42GA01 形 

※本機にオプション品を取り付けた場合は、オプション品の取扱説明書または取付説明書の設置仕様に従ってください。
※本機とオプション品の間には、若干の色違いがあります。

⚠警告

・据え付けるときや設置するときは、お買上げ窓口に依頼してください。
ご自分で据付け工事や移設工事をすると、落下・倒れによるケガや火災・感電の原因となります。

仕様

形名		PDS4203J
画面サイズ		42 型ワイド(幅 92.0cm ×高さ 51.8cm、対角 105.6cm)
アスペクト比		16：9 （ワイド）
質量		38.5 kg
寸法		103.5（横）× 64.0（縦）× 15.0（奥行） cm
使用電源		AC100 V　50/60 Hz
定格消費電力		350 W（最大消費電力 650W、待機時 4W）
画面寸法		92.0（横）× 51.8（縦） cm
表示画素数		852（横）× 480（縦）
表示モード		・ビデオ、S- ビデオ入力時 ノーマル／オート／ワイド 1 ／ワイド 2 ／ズーム 1 ／ズーム 2 ・コンポーネントビデオ入力時 ノーマル／ワイド 1 ／ワイド 2 ／ズーム 1 ／ズーム 2 ・RGB 入力時　ノーマル／ワイド
表示色数		1677 万色（RGB 各 256 色）
音声出力		2 W + 2 W(EIAJ)
スピーカー		2個　内蔵
外部接続端子	ビデオ関連	・ビデオ映像入力　BNC 端子 1 端子　1 Vp-p ／ 75 Ω ・S ビデオ映像入力　S 端子 1 端子　Y：1 Vp-p ／ 75 Ω C：0.286 Vp-p ／ 75 Ω ・コンポーネントビデオ入力（色差信号入力）　BNC 端子 3 端子　Y：1Vp-p ／ 75 Ω Pb ／ B-Y：0.7Vp-p ／ 75 Ω Pr ／ R-Y：0.7Vp-p ／ 75 Ω
	対応方式	・NTSC
	PC 関連	・RGB 入力　mD-sub 3 列 15 ピン　1 端子 映像信号：0.7 Vp-p ／ 75 Ω 同期信号：TTL レベル または 0.3 Vp-p ／ 75 Ω
	音声	・音声入力　ピンジャック（L ／ R）2 端子 1 系統 500mVrms ／ 22 k Ω以上
	制御	・RS232C　D-sub 9 ピン　1 端子
動作使用条件		温度 0 ～ 40℃　湿度 20 ～ 90%
付属品		ケーブルクランパー 2 個、リモコン(P-42RMO1-B) 1 個、単 3 形乾電池 2 本、 保証書 1 通、取扱説明書 1 冊、転倒防止金具 2 種類各 2 個、ネジ 2 種類各 2 本、 フェライトコア 1 個、ワイヤークランパー 2 種類各 1 本

●仕様及び外観は、改善のため変更することがありますのでご了承ください。

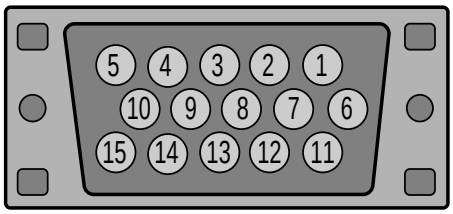
●本機を使用できるのは、日本国内のみです。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

RGB 入力端子(表示は RGB INPUT)

パソコンのモニター(アナログ RGB)出力端子と接続します。



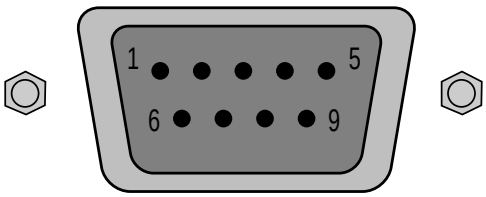
※ 13 ピンの水平(H)同期、14 ピンの垂直(V)同期端子には後面にシンクスイッチ（TTL/ANALOG 切換スイッチ）があります。

ピン番号	入力信号	ピン番号	入力信号
1	赤	9	
2	緑	10	グランド
3	青	11	
4		12	
5	グランド	13	水平(H) 同期
6	グランド	14	垂直 (V) 同期
7	グランド	15	
8	グランド	外面	グランド

RS-232C 端子(表示は RS-232C）

パソコンの RS-232C 端子と接続します。

ピン番号



ピン番号	信号
1	DCD (Data Carrier Detect)
2	RD (Receive Data)
3	TD (Transmit Data)
4	DTR (Data Terminal Ready)
5	GND (Ground)
6	DSR (Data Set Ready)
7	RTS (Request To Send)
8	CTS (Clear To Send)
9	RI (Ring Indication)

■輸送上のお願い

本機は、精密機器のため輸送時には専用の包装材が必要となります。
※当社以外の包装材は、使用しないでください。

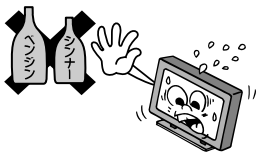
お手入れ

■お手入れの前に

●必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

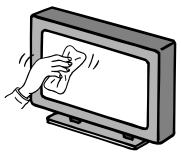
●キャビネット / リモコンのお手入れ

ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。キャビネットや画面前部のフィルター、およびリモコンが変質したり塗料がはげたりすることがあります。
柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布を浸し、よく絞ってふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



●画面のお手入れ

柔らかい布で軽くふき取ってください。
表面は傷つきやすいので硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。



■修理を依頼される前に

●故障かなと思ったら次の項目を点検してください。

こんなとき	確認してください
●電源が入らない	●電源プラグが正しくコンセントに入っていますか
●映像が出ない	●各機器とのケーブルがはずれていませんか
●リモコンが動作しない	●電池の極性が間違っていませんか ●電池が消耗していませんか ●遠方から操作していませんか ●リモコンの送信部を本機の受信部に向けないで操作していませんか ●本機とリモコンの間に障害物がありませんか
●ピシッという音がすることがある	●部屋の温度変化によってキャビネットが伸縮するために発生する音です。
●ファーファーという音がする	●本機は動作中に内部の温度が上昇するのを防ぐため放熱用のファンが取り付けられています。ファンの回転による風きり音です。
●画面に斑点が出る	●お手持ちの AV 機器に自動車や電車、高圧線、ネオンなどからの妨害電波を受けていませんか
●色や色合いが悪い	●映像調整がズレていませんか
●音声が出ない	●内蔵スピーカー設定を OFF にしていませんか
●ERROR MESSAGE CONDITION 1 と表示された場合	●ファンの異常です。主電源を切ってください。
●ERROR MESSAGE CONDITION 2 と表示された場合	●装置内温度異常です。主電源を切ってください。 （温度が下がれば電源の再投入が可能になります）

アフターサービス

必ずお読みください。

■保証について

保証書
（別に添付してあります）

●保証書は必ず販売店からお受け取りください。
●販売店名、お買上げ年月日などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みいただいて、大切に保存してください。

保証期間中の修理

●正常な状態でご使用いただきながら故障した場合は、1年間無料修理を行います。保証書がありませんと、保証期間中でも代金を請求される場合がありますので、よく読んで大切に保存してください。

保証期間経過後の修理

●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の最低保有期間

●当社はこのディスプレイの補修用性能部品を、製造打切り後最低 8 年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご贈答品などで購入店に修理依頼ができない場合

●お近くの当社製品取扱店か、裏表紙の全国サービスネットワークに記載されている最寄りの当社サービス窓口へご相談ください。

■修理を依頼されるとき

次のことをお知らせください

●形名…保証書に記載してあります。
●故障状態…できるだけ詳しく
●お買上げ年月日…保証書に書いてあります。
●お名前、ご住所
●電話番号
●訪問希望日…ご都合の悪い日も

全国サービスネットワーク

修理・お取扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買上げの販売店へお申し付けください。転居や贈答品などでお困りの場合は、最寄りの当社サービスコールセンターへご相談ください。

テレフォンサービス　☎ 044(857)3000

北　海　道　地　区

●サービスコールセンター札幌

北海道全域

☎　011(241)4622（代）
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

北海道サービスセンター
☎ 011(241)4622(代) 〒060-0007 札幌市中央区北七条西13丁目9番地の1

サービスステーション
札　幌 ☎ 011(251)1271(代) 〒060-0007 札幌市中央区北七条西13丁目9番地の1

東　北　地　区

●サービスコールセンター仙台

青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島地区

☎　022(239)5233(代)
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

東北サービスセンター
☎022(239)5106(代) 〒983-0034 仙台市宮城野区扇町3丁目5番5号

サービスステーション
青　森 ☎0177(38)1371(代) 〒030-0131 青森市問屋町2丁目11番17号
盛　岡 ☎019(638)5130(代) 〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3丁目9番5号
秋　田 ☎0188(45)6667(代) 〒011-0901 秋田市寺内字堂の沢187番地の3
仙　台 ☎022(239)5131(代) 〒983-0034 仙台市宮城野区扇町3丁目5番5号
山　形 ☎0236(33)2611(代) 〒990-0071 山形市流通センター2丁目11番地の5
郡　山 ☎0249(22)5570(代) 〒963-8851 郡山市開成2丁目37番23号

首　都　圏　地　区

●サービスコールセンター東京

東京地区

☎　03（3856）6091～2
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

神奈川・埼玉・千葉・茨城・山梨・群馬・栃木・長野・新潟地区

☎　044（861）7700（代）
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

北関東・信越サービスセンター
☎048(666)1911(代) 〒330-0031 大宮市吉野町2丁目202番地1号

サービスステーション
大　宮 ☎048(666)1911(代) 〒330-0031 大宮市吉野町2丁目202番地1号
宇都宮 ☎028(662)8221(代) 〒321-0912 宇都宮市石井町2578番地
高　崎 ☎0273(28)0711(代) 〒370-0831 高崎市新町6番19号
新　潟 ☎025(271)2251(代) 〒950-0863 新潟市卸新町1丁目842番地28
長　野 ☎026(244)6671(代) 〒381-0012 長野市柳原1302番地59
松　本 ☎0263(27)3246(代) 〒390-0843 松本市高宮南8-12松本丸和ビル

東京第一サービスセンター
☎03(3864)9331代) 〒111-0051 東京都台東区蔵前4丁目18番6号蔵前柴田ビル

東京第二サービスセンター
☎0422(53)6709
☎0422(53)6719 〒180-0014 武蔵野市関前3丁目15番10号

サービスステーション
多　摩 ☎0425(83)1151(代) 〒191-0065 日野市旭が丘3丁目3番17号

柏サービスセンター
☎0471(67)7163代) 〒277-0023 柏市中央1丁目9番2号久保ビル

東関東サービスセンター
☎043(266)6151(代) 〒260-0843 千葉市中央区末広5丁目11番9号

サービスステーション
茨　城 ☎0298(24)9611(代) 〒300-0823 土浦市小松1丁目3番33号
千　葉 ☎043(266)6151(代) 〒260-0843 千葉市中央区末広5丁目11番9号

横浜サービスセンター
☎045(321)7961(代) 〒221-0856 横浜市神奈川区三ツ沢上町28番15号

神奈川サービスセンター
☎044(861)4001(代) 〒213-8502 川崎市高津区末長1116番地

サービスステーション
相　模 ☎0427(45)9163(代) 〒228-0803 相模原市相模大野5丁目13番4号

中　部　地　区

●サービスコールセンター名古屋

愛知・岐阜・三重・静岡・富山・石川・福井地区

☎　052(775)1846(代)
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

中部サービスセンター
☎052(775)1847(代) 〒465-0028 名古屋市名東区猪高台1丁目1315番地

サービスステーション
名古屋 ☎052(775)3751(代) 〒465-0028 名古屋市名東区猪高台1丁目1315番地
三　重 ☎059(232)7407(代) 〒514-0102 津市栗真町屋町1709番地
北　陸 ☎0762(91)2354(代) 〒921-8014 金沢市糸田1丁目71番地
静　岡 ☎054(247)3411(代) 〒420-0804 静岡市竜南3丁目17番22号
浜　松 ☎053(464)0068(代) 〒435-0048 浜松市上西町35番5号

近　畿　地　区

●サービスコールセンター大阪

大阪・京都・和歌山・奈良・兵庫・滋賀地区

☎　06（304）1553（代）
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

近畿サービスセンター
☎06(304)1593代) 〒532-0012 大阪市淀川区木川東2丁目2番10号

サービスステーション
大　阪 ☎06(306)1171(代) 〒532-0012 大阪市淀川区木川東2丁目2番10号
京　都 ☎075(681)2721(代) 〒601-8342 京都市南区吉祥院東前田町6番地
神　戸 ☎078(974)3911(代) 〒651-2113 神戸市西区伊川谷町有瀬字東高見1270番地の1
畿　南 ☎0723(31)9311(代) 〒580-0004 松原市西野々2丁目1番45号

中　国　・　四　国　地　区

●サービスコールセンター広島

広島・岡山・鳥取・島根・山口・香川・徳島・愛媛・高知地区

☎　082(503)5115（代）
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

中四国サービスセンター
☎082(291)3551(代) 〒733-0034 広島市西区南観音町17番9号

サービスステーション
広　島 ☎082(291)3551(代) 〒733-0034 広島市西区南観音町17番9号
山　口 ☎0839(73)2383(代) 〒754-0002 山口県吉敷郡小郡町東蔵敷1063番地
松　江 ☎0852(21)2426(代) 〒690-0017 松江市西津田4丁目1番2号
岡　山 ☎086(244)0151(代) 〒700-0975 岡山市今1丁目13番33号
高　松 ☎0878(85)1111(代) 〒761-8084 高松市一宮町2258番の1

九　州　地　区

●サービスコールセンター福岡

福岡・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島地区

☎　092(542)0500（代）
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

九州サービスセンター
☎092(552)1435(代) 〒815-0031 福岡市南区清水2丁目9番29号

サービスステーション
福　岡 ☎092(552)1451(代) 〒815-0031 福岡市南区清水2丁目9番29号
北九州 ☎093(941)3011(代) 〒802-0044 北九州市小倉北区熊本1丁目13番5号
熊　本 ☎096(343)7311(代) 〒860-0085 熊本市高平3丁目13番33号
長　崎 ☎0958(37)8245(代) 〒851-0134 長崎市田中町1235番地の2
宮　崎 ☎0985(27)2811(代) 〒880-0855 宮崎市田代町93番地の1
鹿児島 ☎099(255)8231(代) 〒890-0073 鹿児島市宇宿3丁目17番13号

※住所・電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

（平成10年2月現在）

FUJITSU 株式会社 富士通ゼネラル
〒213-8502 川崎市高津区末長1116番地

8106837032A